

平成 28 年 9 月

地域経済動向調査報告書

～平成 28 年度 伴走型小規模事業者支援推進事業～

那珂川町商工会

【目次】

I. 那珂川町の概要	3
I-(1). 那珂川町の人口動態	3
I-(1)-1. 那珂川町の人口の推移	3
I-(1)-2. 那珂川町の高齢化率の推移	4
I-(1)-3. 那珂川町の年代別人口増減と転入転出状況	5
I-(2). 那珂川町の経済概要	7
I-(2)-1. 那珂川町の地域経済循環状況	7
I-(2)-2. 那珂川町の産業別経済循環と生産状況(2010 年)	8
I-(2)-3. 那珂川町の産業別就業者の割合(2010 年)	10
I-(2)-4. 那珂川町の産業別売上金額の割合(2014 年)	11
I-(2)-5. 那珂川町の 1 人あたりの産業別売上金額の割合(2014 年)	12
I-(2)-6. 那珂川町の産業別特化係数(製造業)	13
II. 那珂川町の第 1 次産業	14
II-(1). 那珂川町の農産物の販売額	14
II-(2). 那珂川町の農林水産業	15
III. 那珂川町の第 2 次産業	16
III-(1). 那珂川町の工業動向	16
III-(1)-1. 那珂川町の工業製品出荷額の推移	16
III-(1)-2. 那珂川町の工業従業者の推移	17

III-(1)-3. 那珂川町の工業粗付加価値額の推移	18
III-(1)-4. 那珂川町の 1 人あたりの粗付加価値額の推移	19
IV. 那珂川町の第 3 次産業等	20
IV-(1). 那珂川町の商業動向	20
IV-(1)-1. 那珂川町の年間商業販売額の推移	20
IV-(1)-2. 那珂川町の商業従業者数の推移	21
IV-(1)-3. 那珂川町の商業従業者一人当たり年間商品販売額の推移	22
IV-(2). 那珂川町のその他の指標	23
IV-(2)-1. 那珂川町の創業比率と黒字赤字企業比率	23
V. Appendix(栃木県の情報)	25
V-(1). 栃木県全体の情報	25
V-(1)-1. 栃木県の主要指標	25
V-(1)-2. 栃木の県民所得	26
V-(1)-3. 栃木の経済状況	28
V-(1)-4. 栃木の市町村民経済計算	31

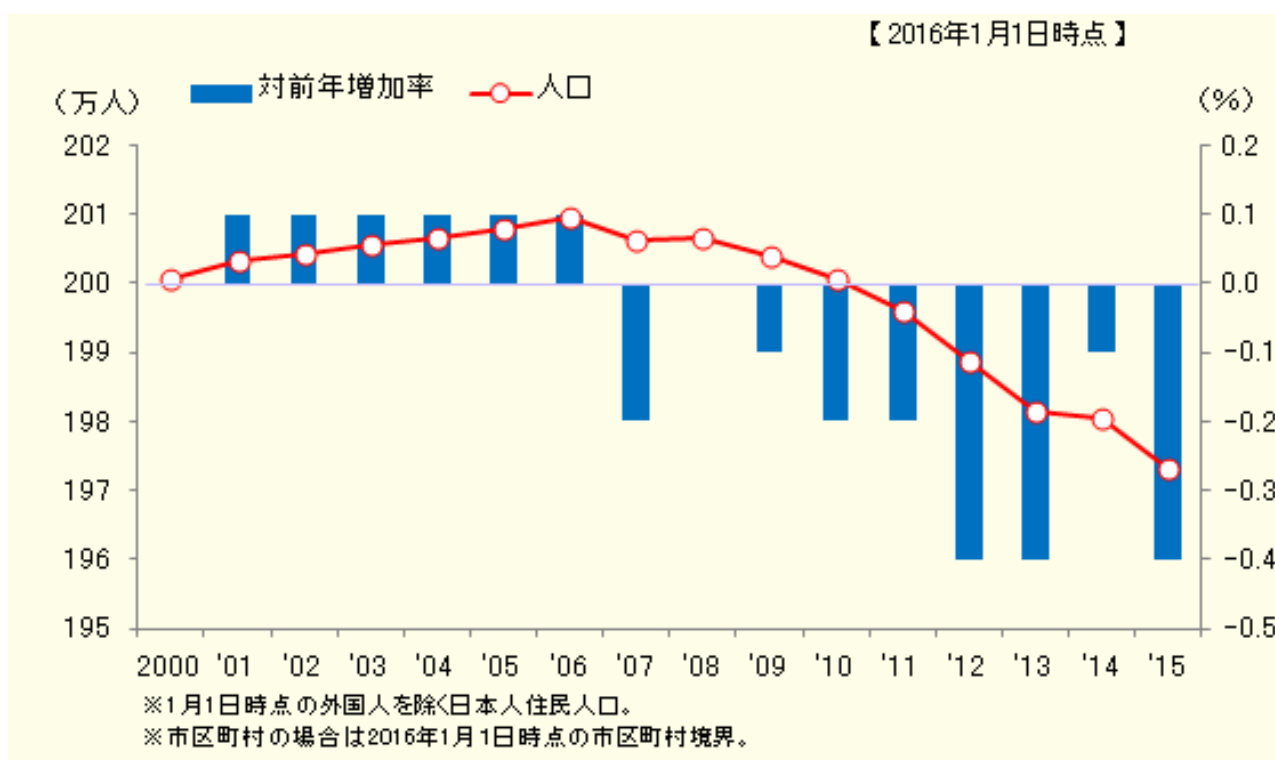
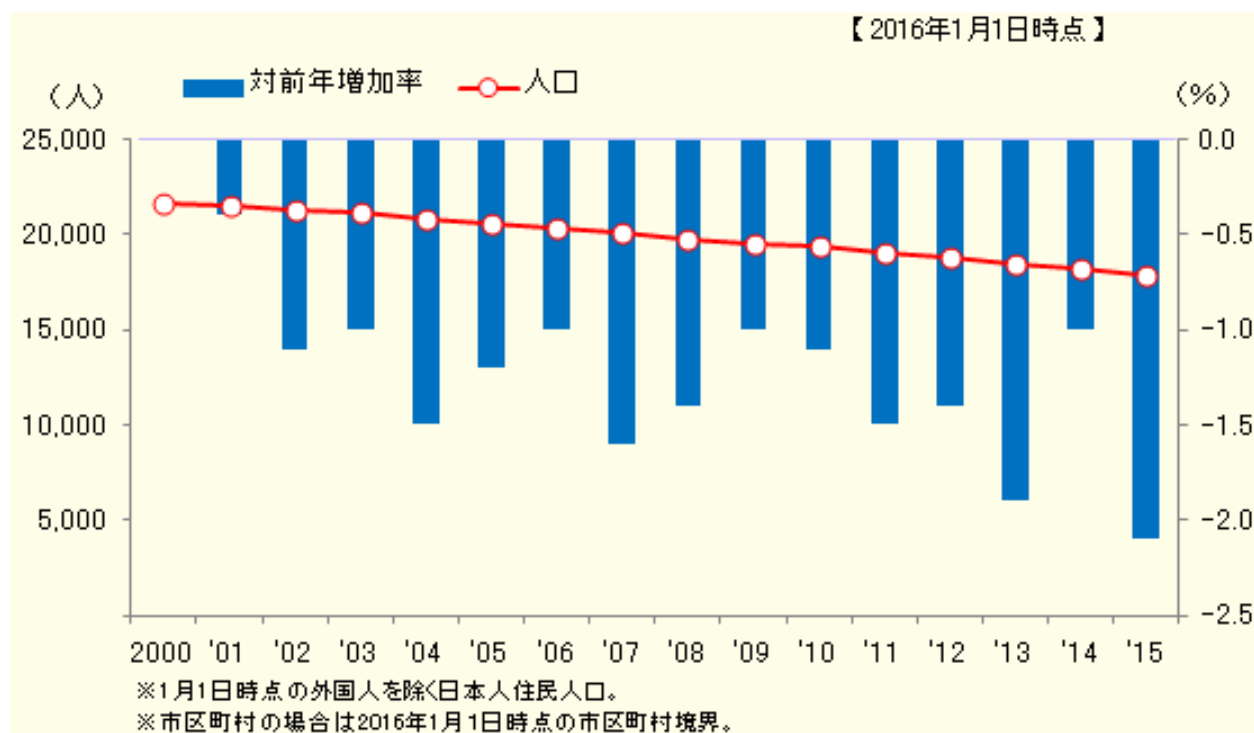
I. 那珂川町の概要

I-(1).那珂川町の人口動態

I-(1)-1.那珂川町の人口の推移

- ・那珂川町の2016年1月1日時点の人口は、17,509人であり、前年より2.0%減少している。栃木県は0.4%減のため、県の平均よりも人口が減少していることがわかる。
- ・特にこの10年間は、人口の減少幅も徐々に拡大している。

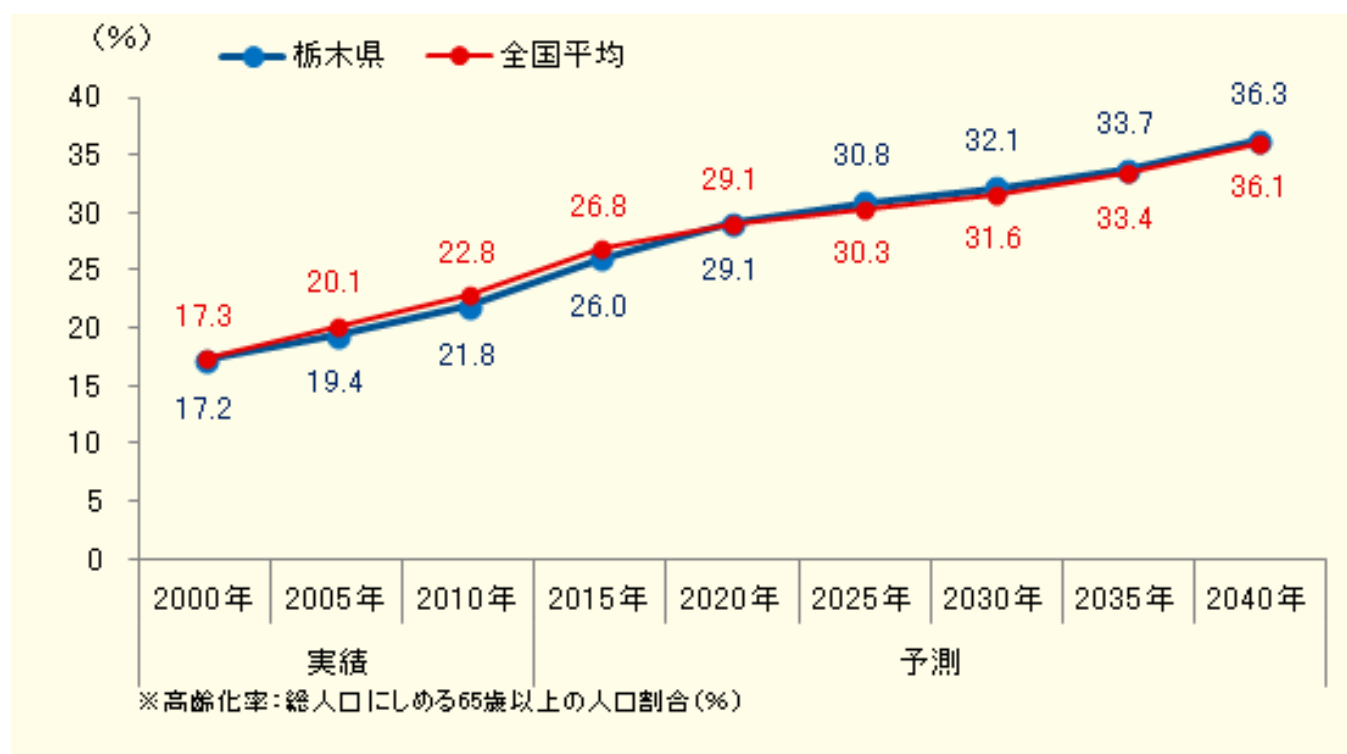
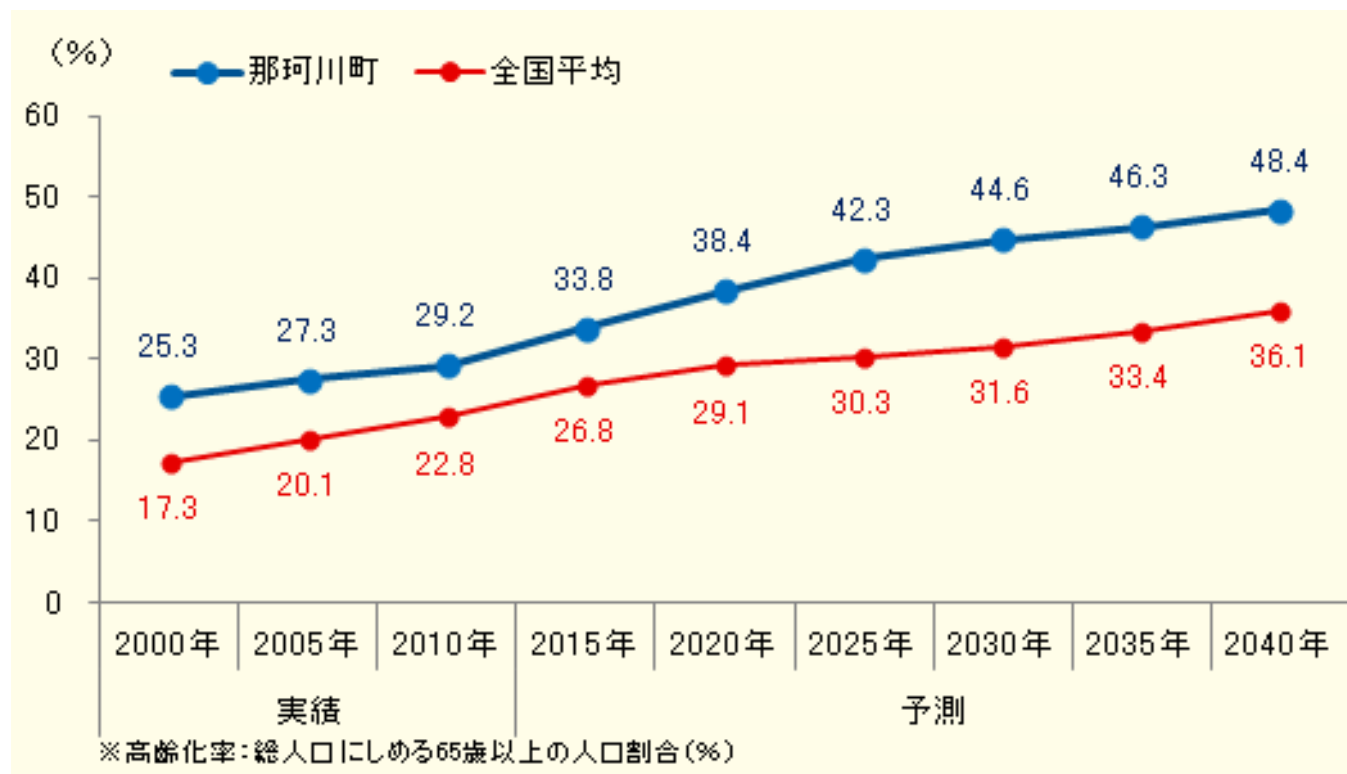
図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の人口の推移対比



I-(1)-2.那珂川町の高齢化率の推移

- ・那珂川町の 2010 年度の高齢化率(65 歳以上の割合)は 29.2%で、全国平均より大幅に高かった。栃木県全体は 21.8%のため、県内平均よりも高齢化が進んでいる。
- ・このまま高齢化が進んだ場合、2040 年には 48.4%まで上昇し、ほぼ 2 人に 1 人以上が高齢者になると見込まれる。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の高齢化率の推移対比



I-(1)-3.那珂川町の年代別人口増減と転入転出状況

- ・1985 年から一貫して、生産年齢の人口は減少しており、その減少幅は拡大し続けるいっぽう、老年人口は増え続けている。2030 年には老年人口も減少に転じると予測され、このままでは全年代での人口減は避けられない。
- ・栃木県全体は、転入より転出、特に東京圏への転出が多い。また近年の傾向として、北関東からの転入が増えてきた。

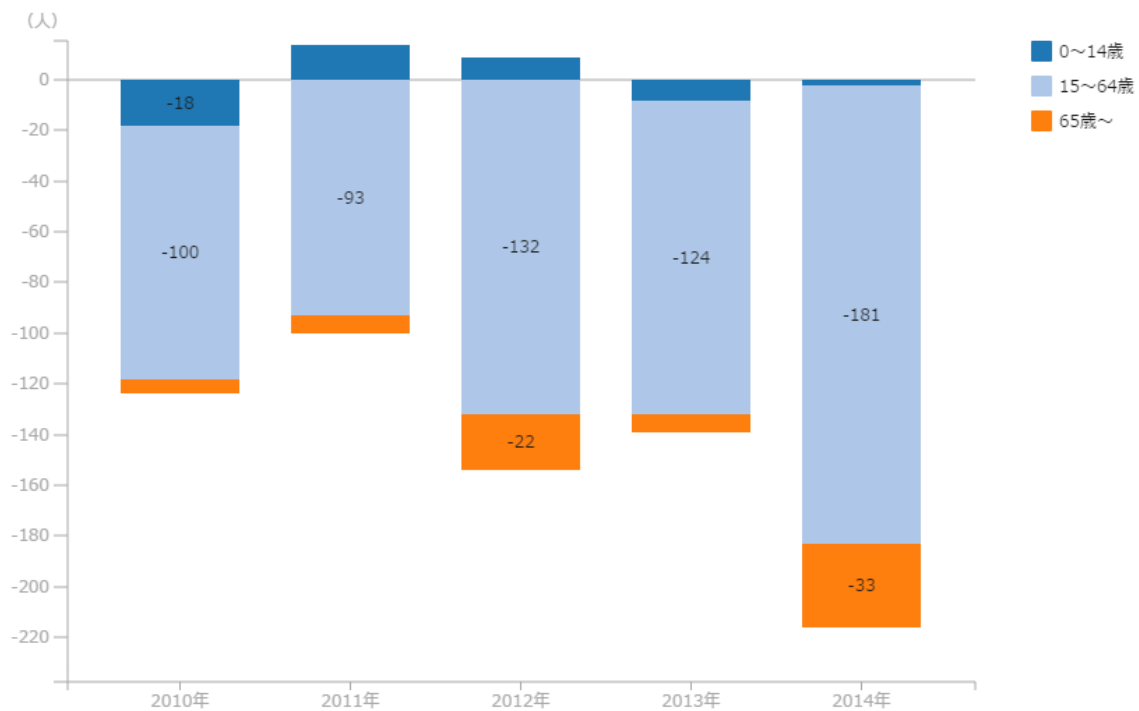
図表：人口増減[上]/ 地域ブロック別純移動数[下]



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

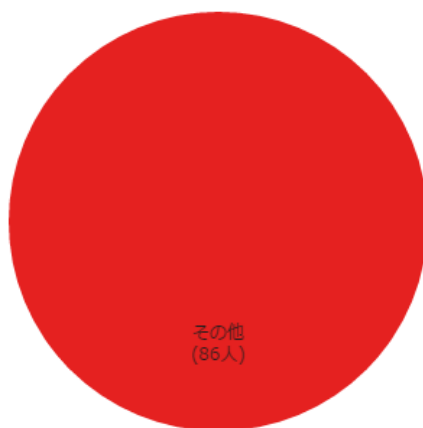
- ・2010 年以降、一貫しては転入より転出が多い状況が続いている。特に、15-64 歳の生産年齢層の転出が際立って増えている。他市町では増えているところが多い老年層も、那珂川町では転出の方が多い状態である。
- ・転入は様々なところからきているいっぽうで、転出は、那須烏山市が最も多く、宇都宮市、大田原市がこれに続く。

図表：那珂川町の年齢階級別純移動数[上] /那珂川町の From-to 分析(2014 年)[下]



転入超過数内訳

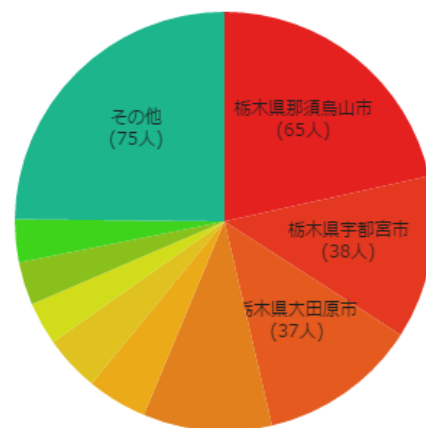
総数



- 1位 その他 86人 (100%)

転出超過数内訳

総数



- 1位 栃木県那須烏山市 65人 (21.5%)
- 2位 栃木県宇都宮市 38人 (12.6%)
- 3位 栃木県大田原市 37人 (12.3%)
- 4位 栃木県那須塩原市 30人 (9.9%)
- 5位 栃木県高根沢町 14人 (4.6%)
- 6位 栃木県日光市 13人 (4.3%)
- 7位 栃木県さくら市 10人 (3.3%)
- 8位 栃木県矢板市 10人 (3.3%)
- 9位 栃木県栃木市 10人 (3.3%)
- 10位 その他 75人 (24.8%)

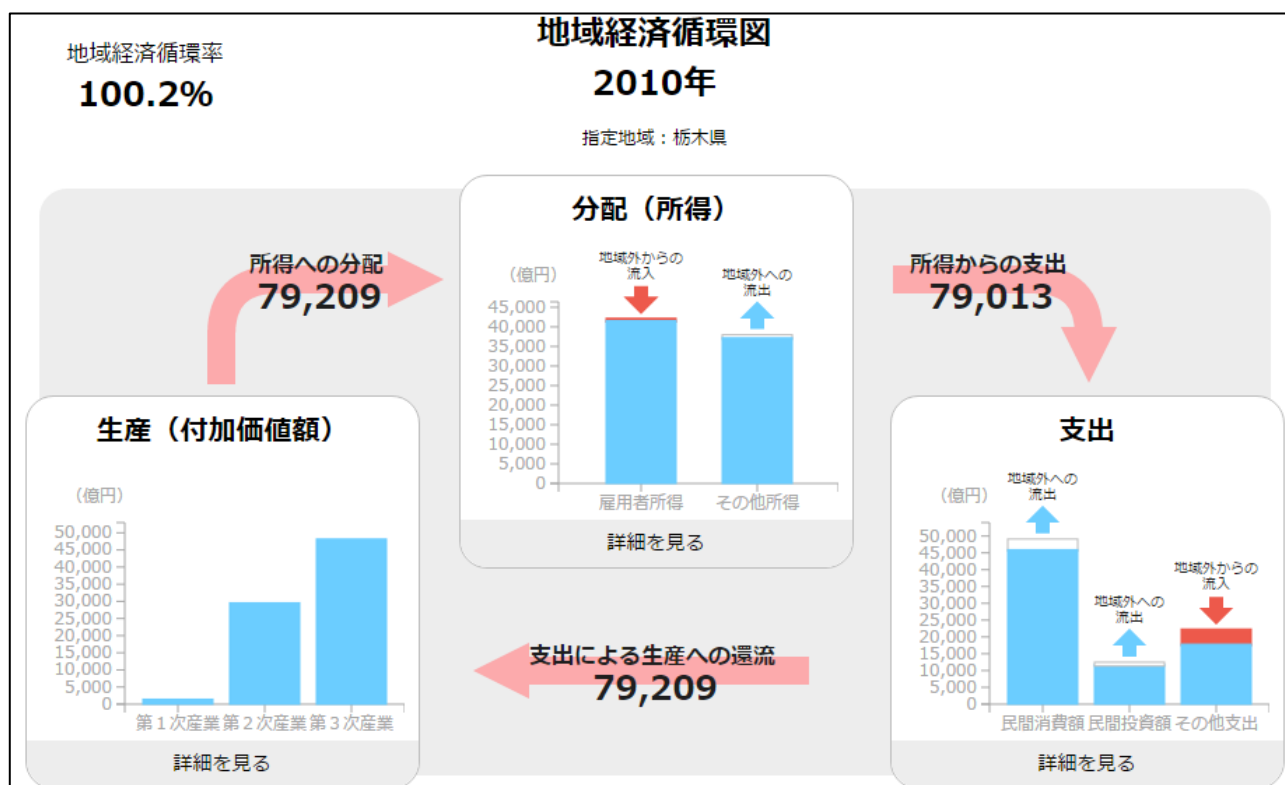
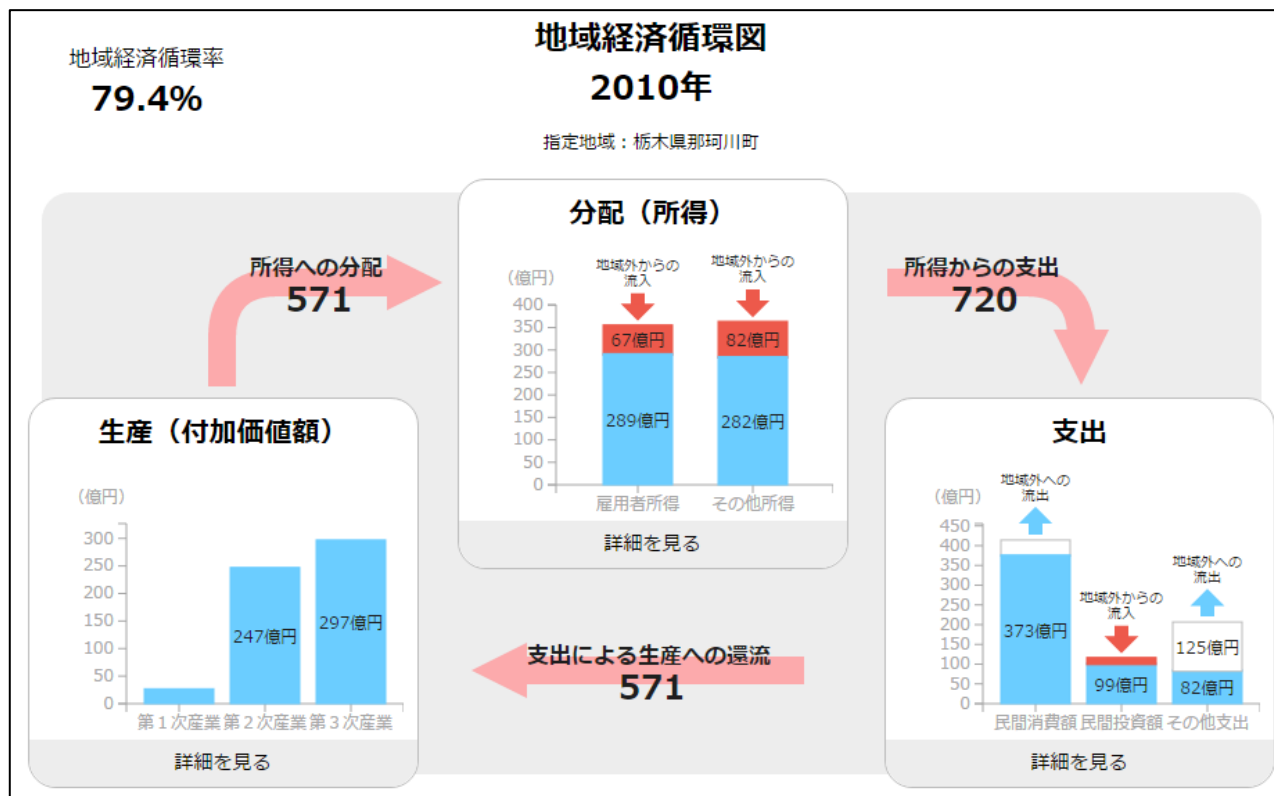
出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

I-(2).那珂川町の経済概要

I-(2)-1.那珂川町の地域経済循環状況

・生産（付加価値額）を分配（所得）で除した地域経済循環率は、地域経済の自立度を示しており、値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。那珂川町の地域経済循環率は 79.4%と、栃木県全体の 100.2%よりも低い。なお、隣接している群馬県全体では 98%、茨城県全体では 99%である。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の地域経済循環図比較



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

I-(2)-2.那珂川町の産業別経済循環と生産状況(2010 年)

- ・那珂川町の一人あたりが生み出す付加価値額は栃木県の平均より少ない水準である。3 次産業は平均以上であるが、1 次産業と 2 次産業は 4,50 万円ほど低く、そのせいか、雇用者所得も栃木平均より低い。
- ・その他の支出の支出流出入率でマイナス 60.5%となっており、市内でお金を循環させる仕組みづくりが急務である。

付加価値額（一人当たり）

	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
那珂川町：付加価値額（一人当たり）	207 万円	913 万円	818 万円
栃木県：付加価値額（一人当たり）	255 万円	962 万円	805 万円

所得（一人当たり）

	雇用者所得	その他所得
那珂川町：所得（一人当たり）	381 万円	197 万円
栃木県：所得（一人当たり）	432 万円	183 万円

支出流出入率

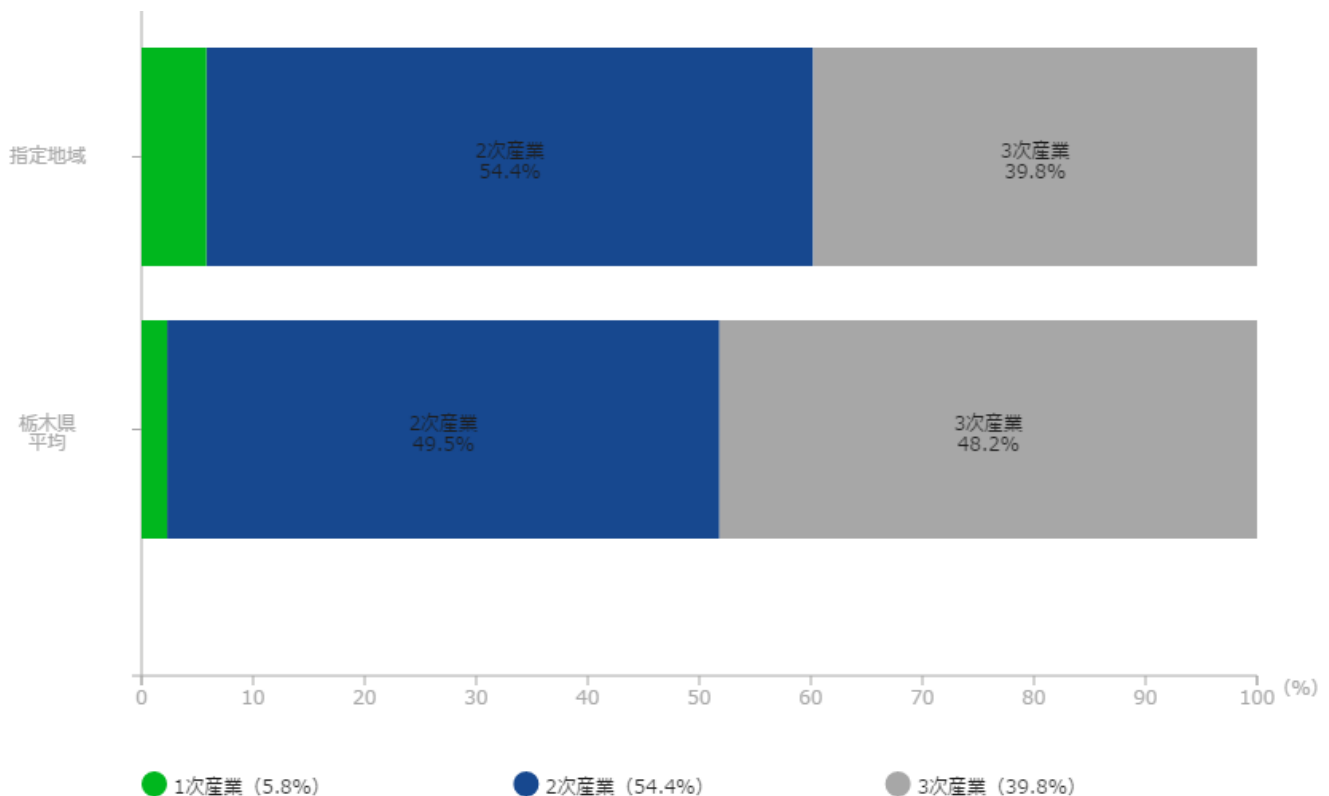
	民間消費	民間投資	その他支出
那珂川町：支出流出入率	-10.0%	18.2%	-60.5%
栃木県：支出流出入率	-7.3%	-9.2%	28.2%

出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者作成

■ 産業別生産額の対比

- ・那珂川町は栃木県平均と比べ、1 次産業と、2 次産業の生産額の割合が高くなっている。

図表：産業構成の割合：生産額（総額）

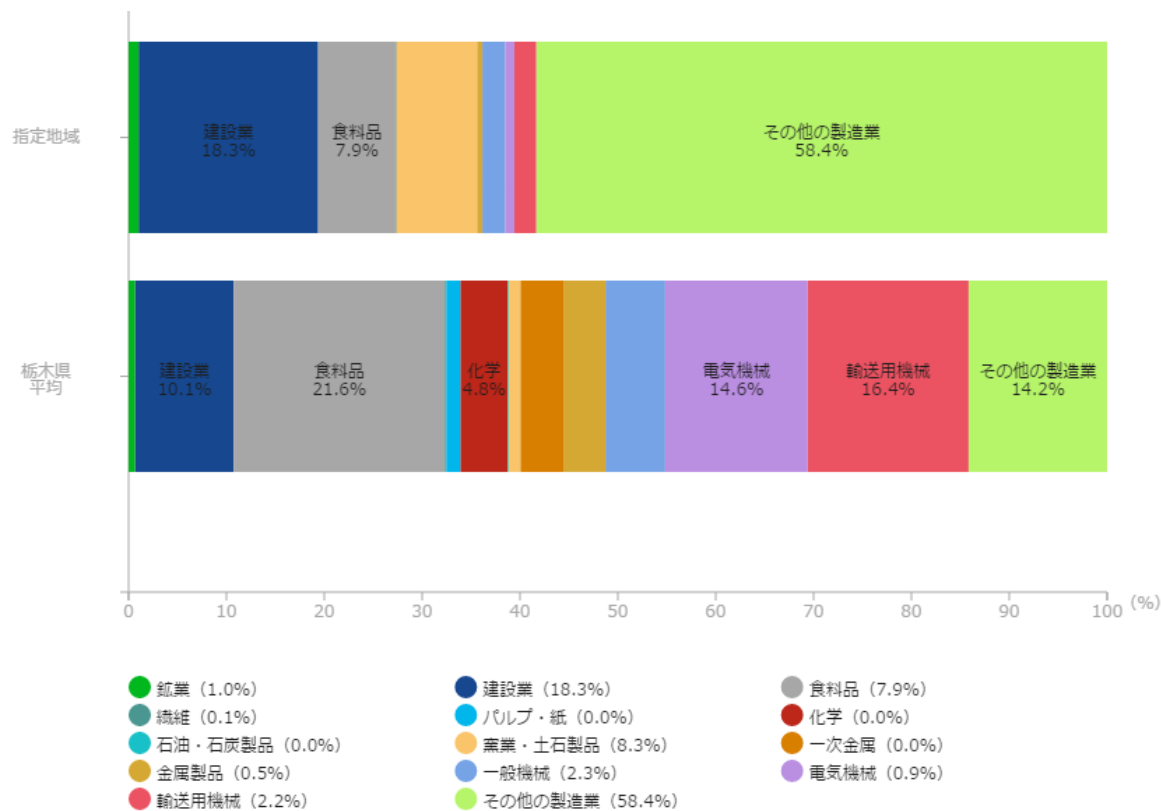


出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

■ 2 次産業と 3 次産業内の生産額の割合

・2 次産業の生産額の 58%がその他の製造業に分類されている。

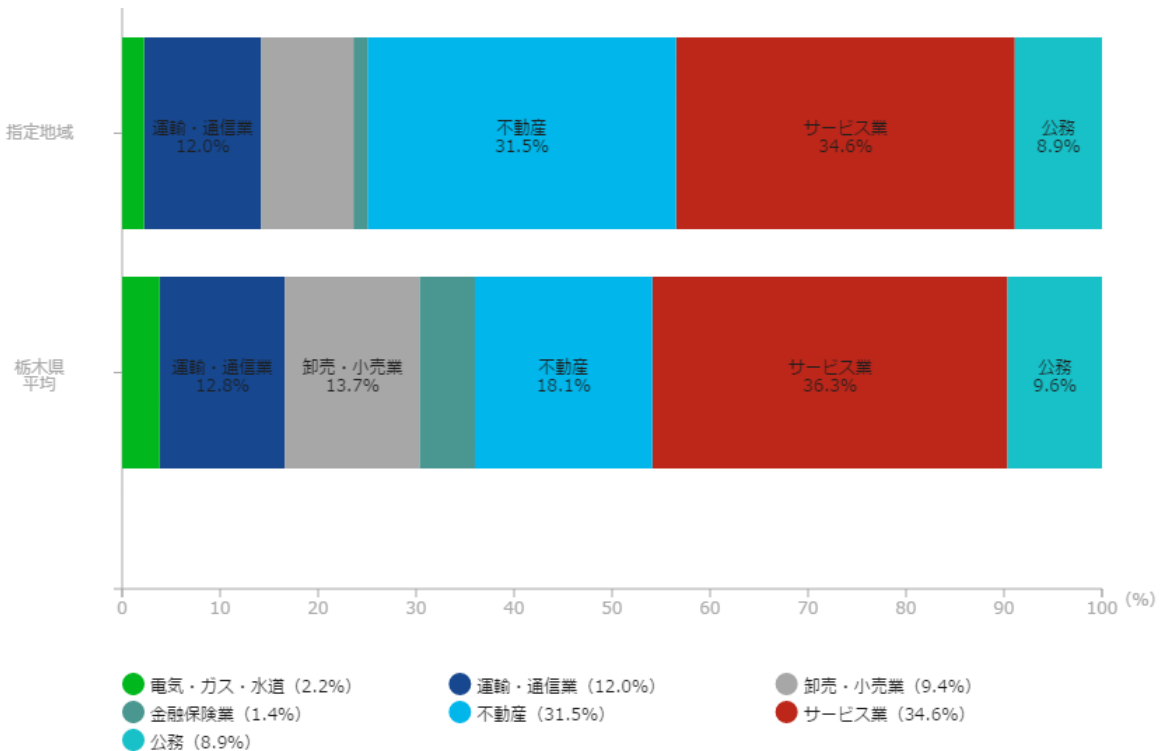
図表：2 次産業の生産額の割合



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

・3 次産業では県平均に比べて卸・小売業の生産額の割合が低く、不動産による生産割合が高くなっている。

図表：3 次産業の割合



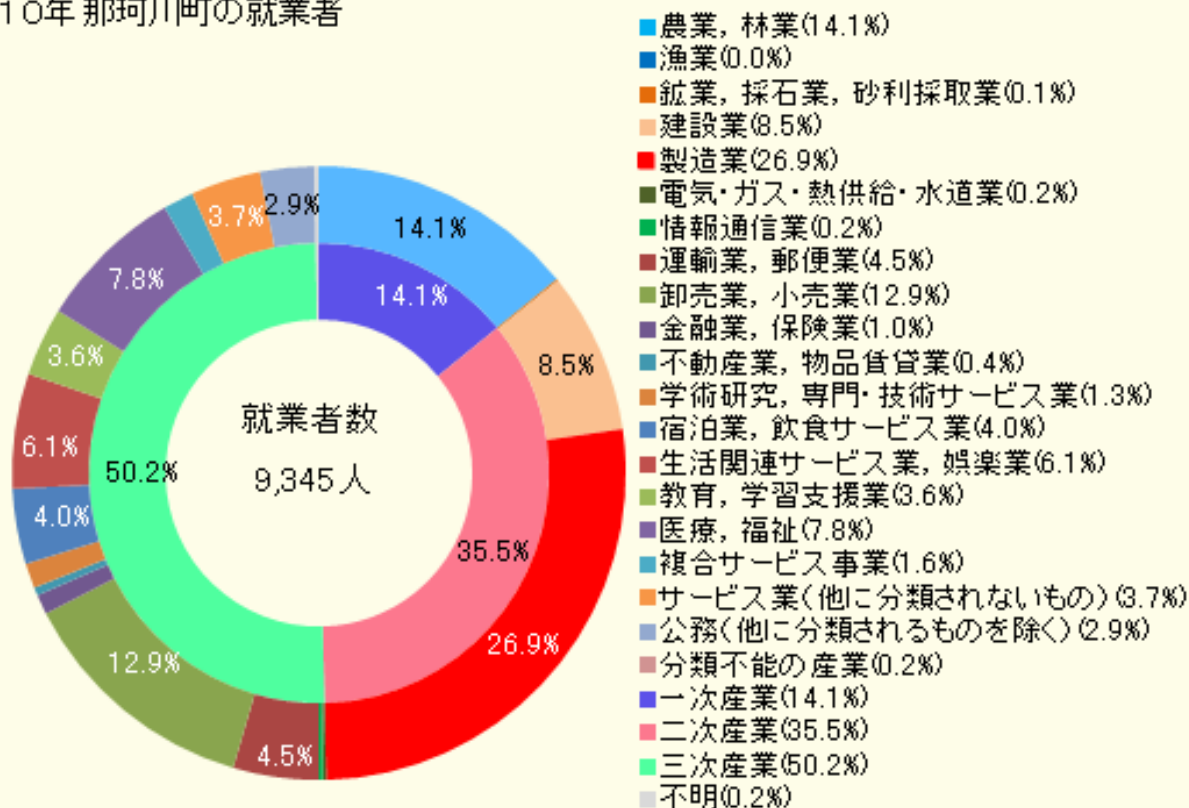
出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

I-(2)-3.那珂川町の産業別就業者の割合(2010 年)

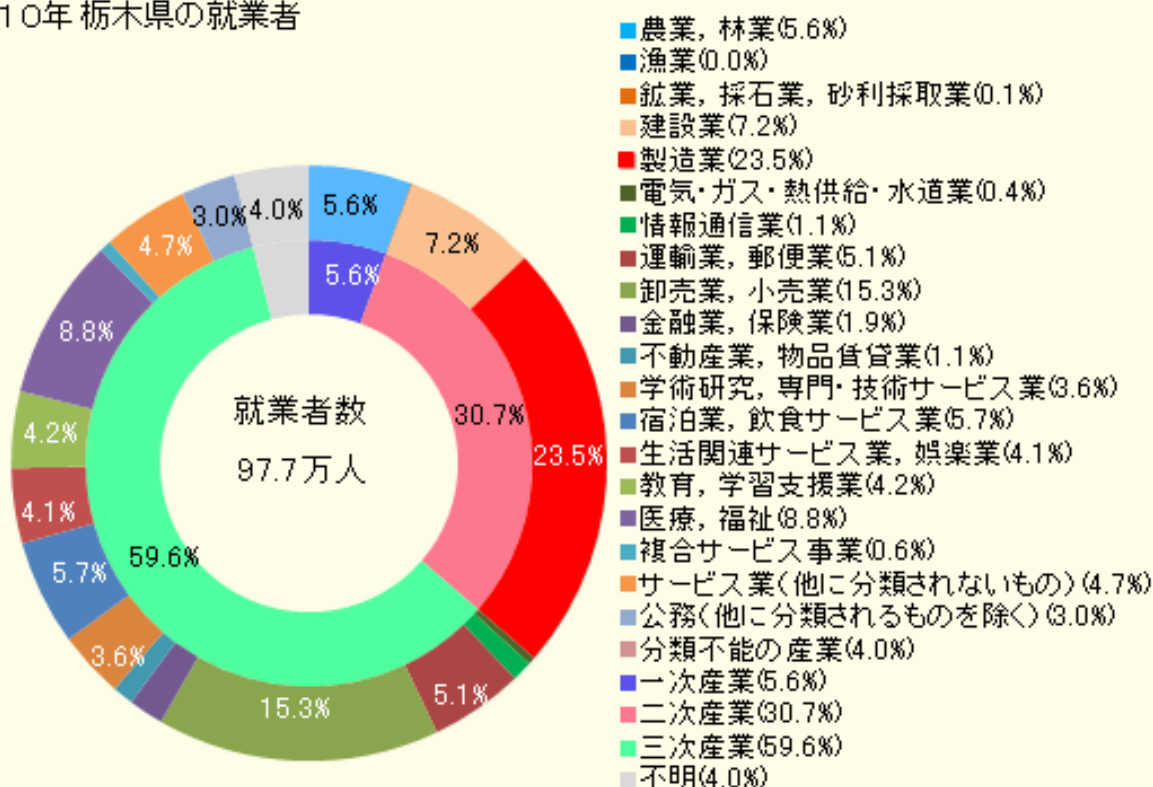
- ・那珂川町は栃木県全体に比べて、2 次産業の就業者の割合が 4.8% 高く、3 次産業の就業者の割合は 8.4% 低くなっている。また、1 次産業が県の平均より 8.5% も高い。
- ・2 次産業では製造業の従業者が最も多く(26.9%)、3 次産業では卸・小売業が最も多い(12.9%)。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の産業/業種別就業者の割合

2010 年 那珂川町の就業者



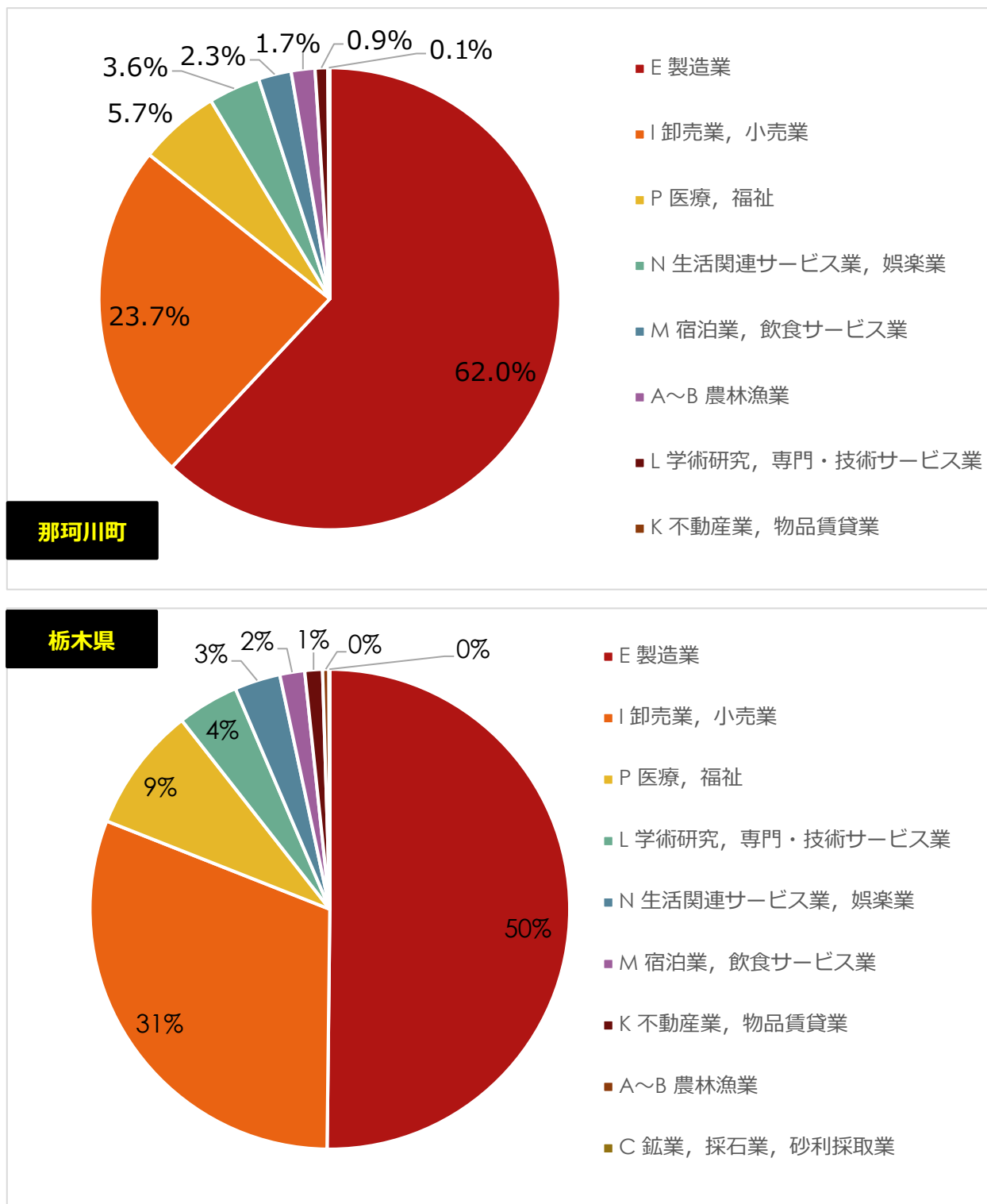
2010 年 栃木県の就業者



I-(2)-4.那珂川町の産業別売上金額の割合(2014 年)

・2014 年、那珂川町で最も売上を上げたのは製造業で、全体の 62%の売上を占めている。その次には卸売業・小売業が約 24%で続いており、この 2 産業が非常に重要な産業であることが分かる。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の産業（大分類）ごとの売上金額割合



出典：総務省『経済センサス-基礎調査_平成 26 年』より筆者作成

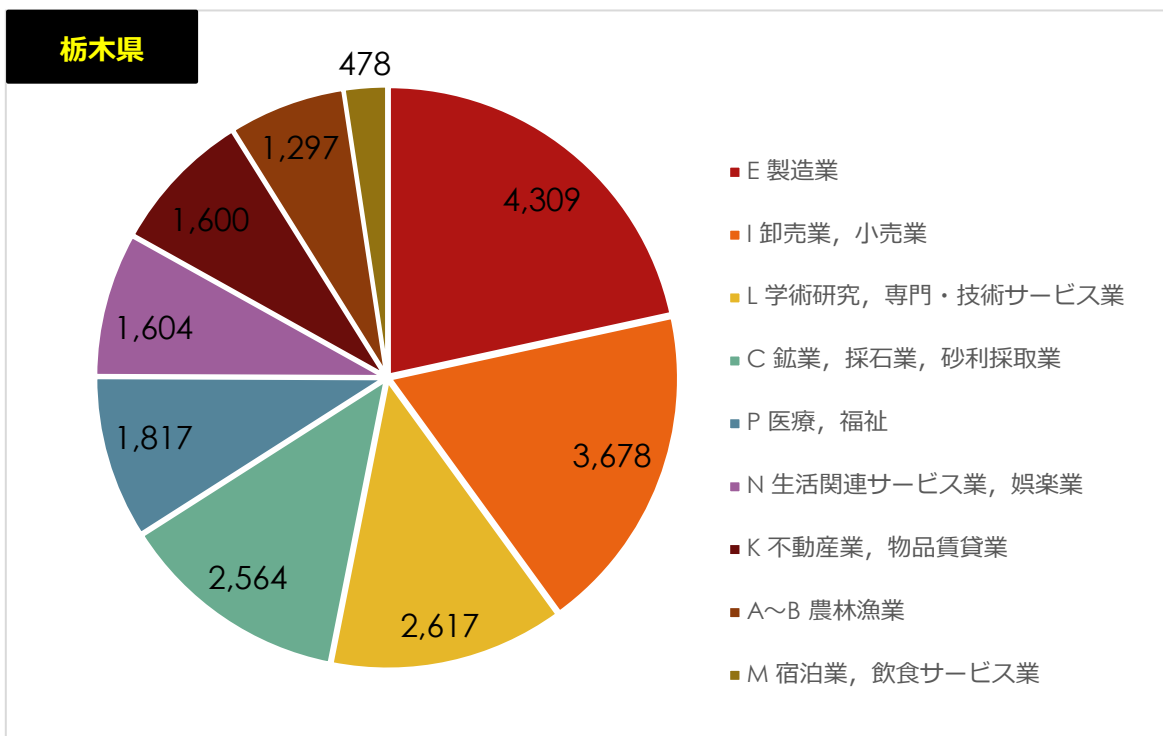
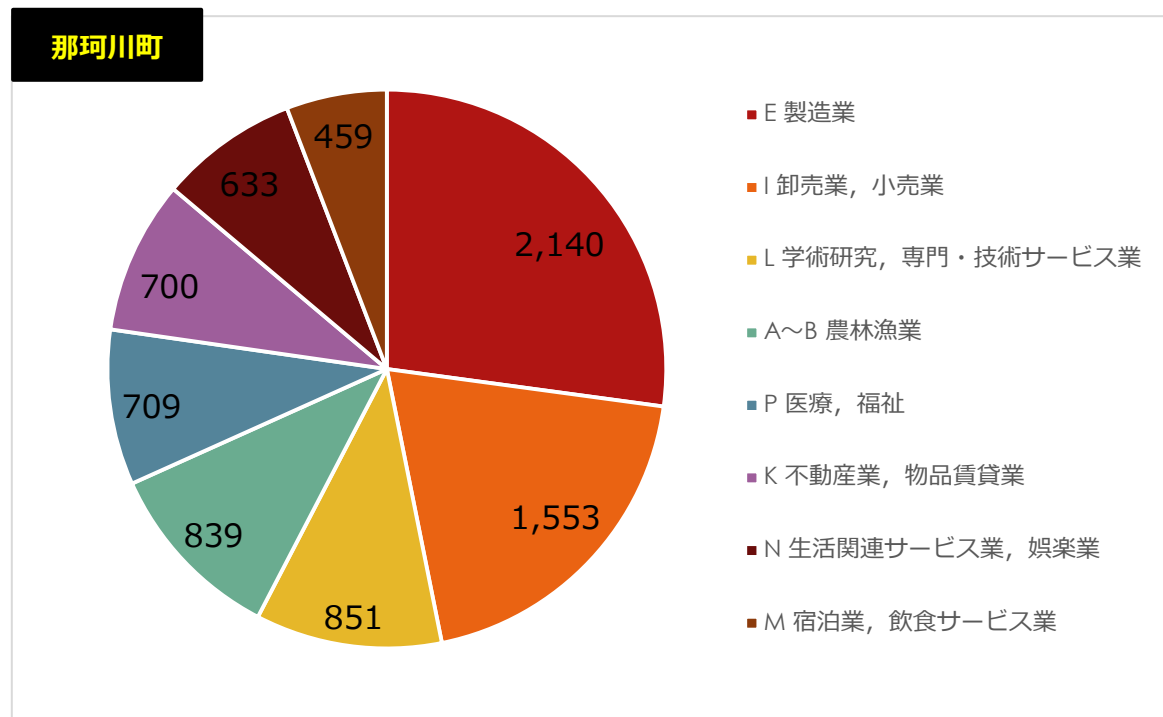
※D 建設業 F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業, 郵便業 J 金融業, 保険業 O 教育, 学習支援業 Q 複合サービス事業 R サービス業（他に分類されないもの） C 鉱業, 採石業, 砂利採取業は対象外

I-(2)-5.那珂川町の 1 人あたりの産業別売上金額の割合(2014 年)

・2014 年、那珂川町で最も一人当たりの売上高が高かった産業は、製造業(2,140 万円)であった。しかし、栃木県の製造業の平均(4,309 万円)と比べた場合、約 2,000 万円強の差がある。また、多くの産業で 2-3 倍近くの差が発生している。まずは特化係数の高い産業などに絞り、重点的に振興施策を始めていくことが重要となってくる。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の産業（大分類）ごとの従業者 1 人あたり売上割合

単位：万円



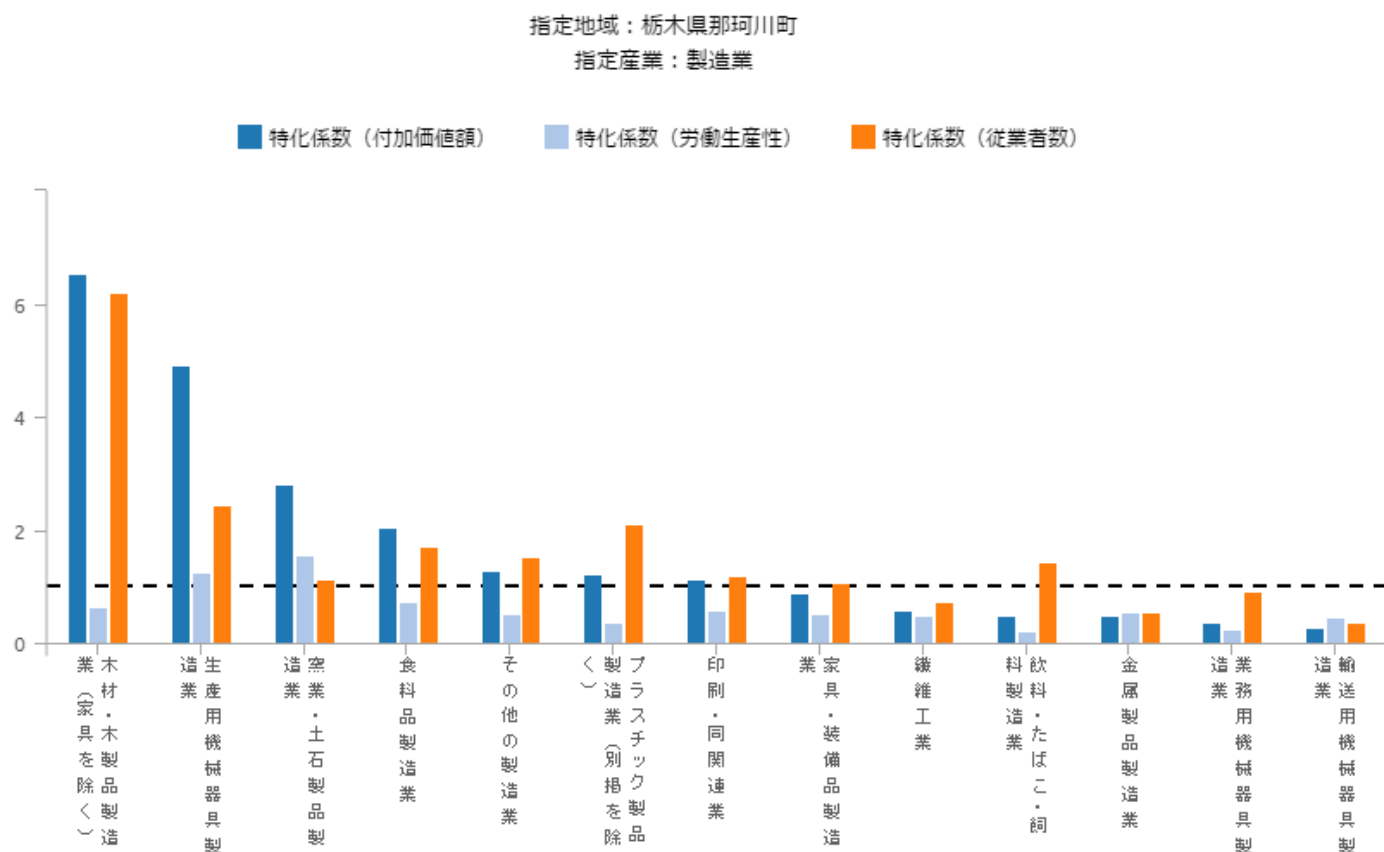
出典：総務省『経済センサス-基礎調査_平成 26 年』より筆者作成

※D 建設業 F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業, 郵便業 J 金融業, 保険業 O 教育, 学習支援業 Q 複合サービス事業 R サービス業（他に分類されないもの） C 鉱業, 採石業, 砂利採取業は対象外

I-(2)-6.那珂川町の産業別特化係数(製造業)

・付加価値額と従業者数の特化係数については、木材・木製品製造業や生産用機械器具製造業など5つの業種が、全国平均に比べて上回っている。いっぽうで、労働生産性は生産用機械器具製造業と窯業・土石製品製造業以外のすべての業種で全国より下回っている。

図表：那珂川町の産業別特化係数



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

※特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0 を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合、全国の当該産業の数値を 1 としたときの、ある地域の当該産業の数値。

※労働生産性＝付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）

以降は

Ⅱ.第 1 次産業

Ⅲ.第 2 次産業

Ⅳ.第 3 次産業

の順に那珂川町の現状を確認していく

II. 那珂川町の第1次産業

II-(1).那珂川町の農産物の販売額

- ・2005年(425,475万円)と比べ、2010年(343,000万円)の農産物の販売総額は20%ほど減少した。経営体当たりの販売金額も減少している。なお、同様に従業者数が減っている栃木県および全国平均では、販売金額が上昇している。
- ・販売金額100～1,000万円の小規模事業者の割合が、28.29%から24.26%と減少している。

図表：那珂川町の農産物の販売金額(総額、経営体当たり)と農産物金額帯別の経営体の割合



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

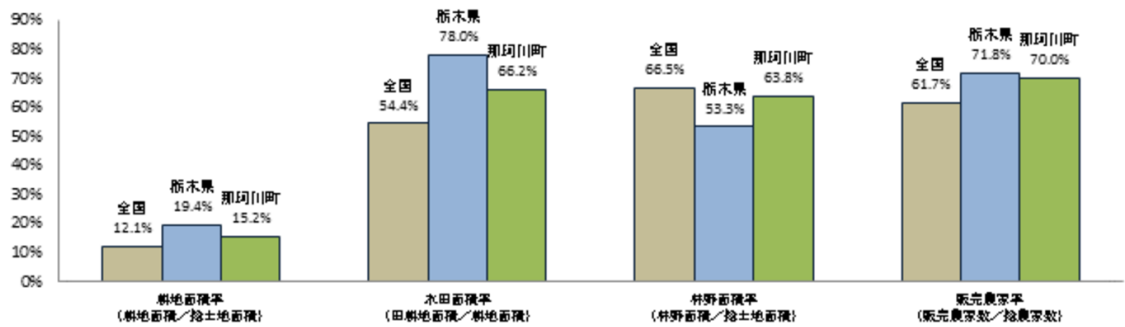
II-(2).那珂川町の農林水産業

・耕地面積率は 15.2%であり、全国平均と栃木県平均のちょうど中間くらいとなっている。林野面積率は 63.8%と県内平均を超えており、また、林業経営対数のシェアが県内の 7.3%のため、相対的に林業が盛んともいえる。

図表：那珂川町の農林水産業の基本指標

■ 面積		■ 世帯等		■ 地域	
総土地面積	19,278 ha(3.0%)	総世帯数	5,877 世帯(0.8%)	農業集落数	116 集落(3.5%)
耕地面積	2,930 ha(2.4%)	農業経営体数	1,214 経営体(3.0%)	農産物直売所数	11 施設(2.6%)
田耕地面積	1,940 ha(2.0%)	総農家数	1,718 戸(3.1%)	漁港数	—
畑耕地面積	990 ha(3.6%)	自給的農家数	516 戸(3.3%)	漁船隻数	...
林野面積	12,303 ha(3.6%)	販売農家数	1,202 戸(3.0%)		
■ 人口		主業農家数	170 戸(1.9%)		
総人口	18,446 人(0.9%)	準主業農家数	283 戸(2.8%)		
農業就業人口	1,772 人(2.9%)	副業的農家数	749 戸(3.6%)		
漁業就業者数	...	林業経営体数	160 経営体(7.3%)		
		漁業経営体数	...		

注1: 総人口、総世帯数、農産物直売所数については
H22年値、漁業就業者数、漁業経営体数、漁船隻数
についてはH25年値、その他はH27年値。
注2: ()内は都道府県内でのシェア。



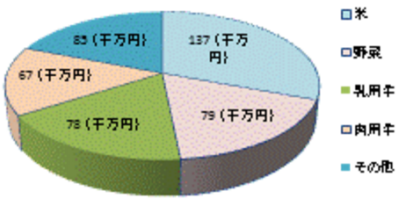
出典：農林水産省『わがマチ・わがムラ』より筆者抜粋

・販売農家数も米が 1272 戸と 1 位で、2 位の野菜でも 291 戸となっている。ただ、産出額 3 位の乳用牛、4 位の肉用牛と比べると、米農家の戸数あたりの産出額の低さが、課題として指摘され得てしまう。

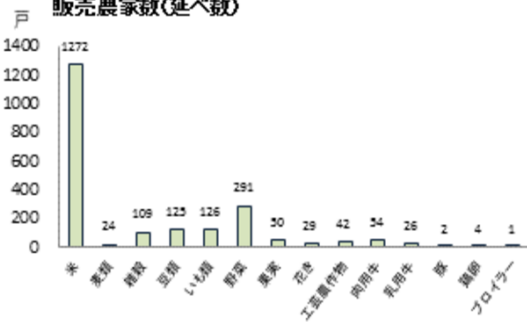
図表：那珂川町の農業部門別の産出額・販売農家数

■ 農業産出額		■ 販売農家数	
合計	446 千万円(1.7%)	1,202 戸	
耕種計	250 千万円(1.4%)		
米	137 千万円(1.9%)	1,272 戸	
麦類	1 千万円(0.2%)	24 戸	
雑穀	3 千万円(3.8%)	109 戸	
豆類	2 千万円(0.7%)	125 戸	
いも類	6 千万円(4.2%)	126 戸	
野菜	79 千万円(1.1%)	291 戸	
果実	6 千万円(0.7%)	50 戸	
花き	10 千万円(1.3%)	29 戸	
工芸農作物	4 千万円(3.7%)	42 戸	
種苗・苗木類・その他	1 千万円(0.9%)		
畜産計	196 千万円(2.2%)		
肉用牛	67 千万円(2.9%)	54 戸	
乳用牛	78 千万円(2.5%)	26 戸	
うち生乳	68 千万円(2.4%)		
豚	29 千万円(1.6%)	2 戸	
鶏	22 千万円(1.5%)		
うち鶏卵	—	4 戸	
うちブロイラー	X	1 戸	
その他畜産物	1 千万円(5.9%)		
加工農産物	0 千万円		

農業産出額の内訳



販売農家数(延べ数)



出典：農林水産省『わがマチ・わがムラ』より筆者抜粋

注1: 農業産出額についてはH18年値、販売農家数の合計についてはH27年値、内訳はH22年値。
注2: ()内は都道府県内でのシェア。

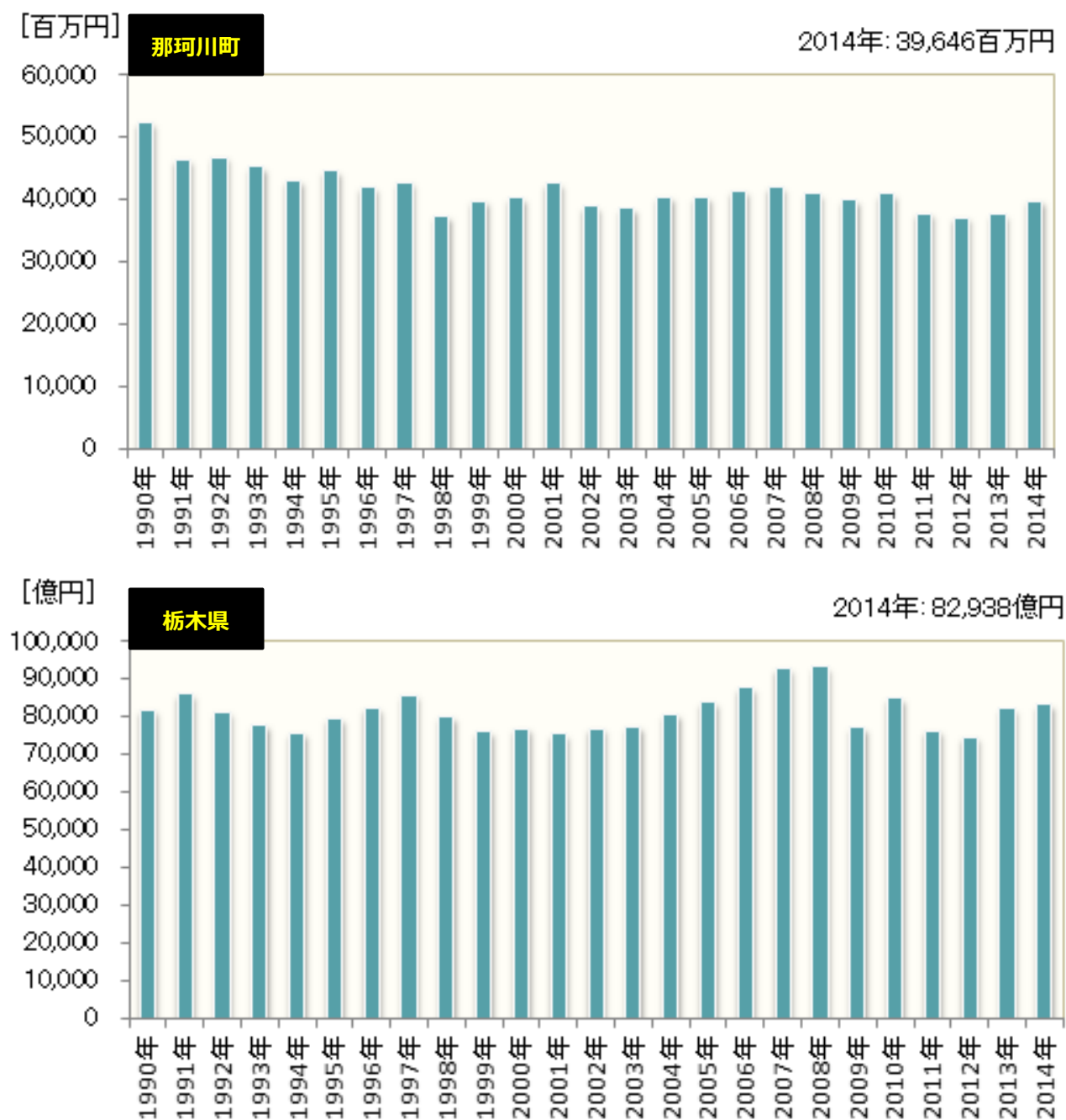
III. 那珂川町の第2次産業

III-(1).那珂川町の工業動向

III-(1)-1.那珂川町の工業製品出荷額の推移

- ・この25年間、栃木県全体がほぼ横ばいで推移しているが、那珂川町も同様の傾向を示している。2008年秋のリーマンショックや2011年の東日本大震災の影響も栃木県ほど受けなかった。
- ・ここ3年間は少しずつではあるが、出荷額が徐々に上昇しており、この傾向を続けていきたい。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の工業製造品出荷額等の推移

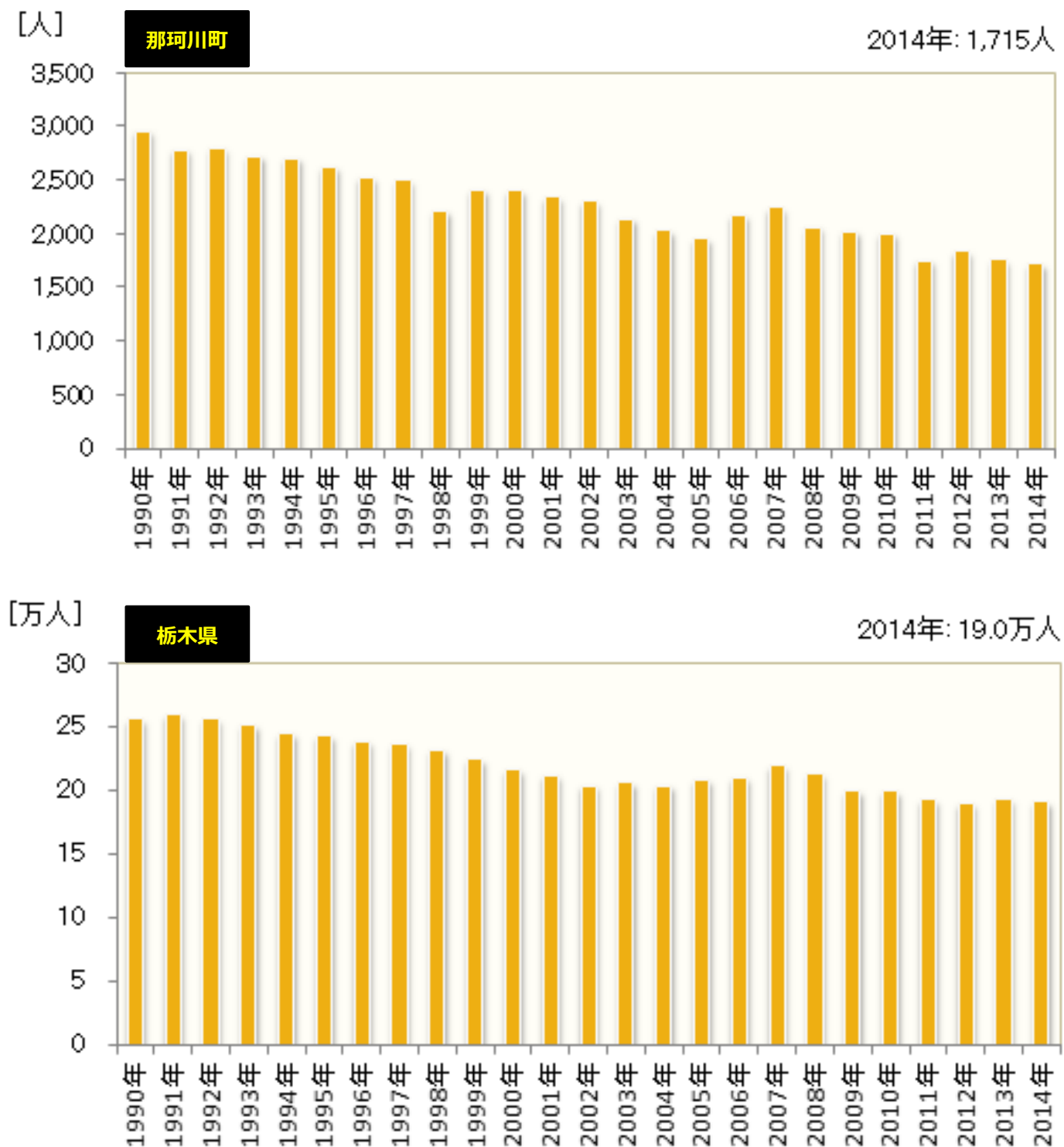


III-(1)-2.那珂川町の工業従業者の推移

・この 25 年間で、栃木県も那珂川町も緩やかに従業者が減少している。どちらも 2007 年付近に一度盛り返したが、そこからまた減少の一途を辿っている。

ただ、ここ数年は那珂川町のほうが栃木県に比べて減少率が高い。生産人口の減少が影響していると考えられる。

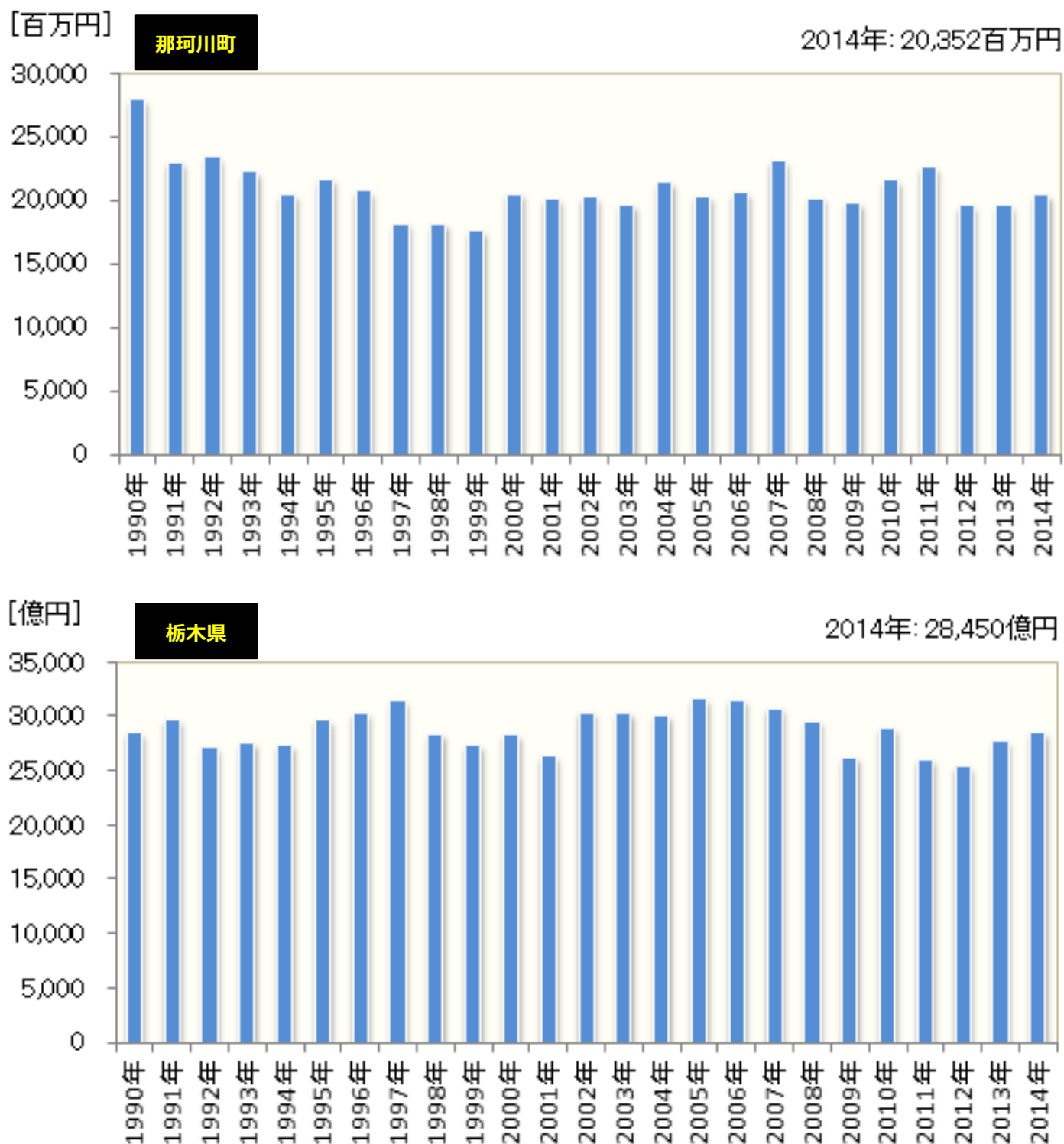
図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の工業従業者数の推移



III-(1)-3.那珂川町の工業粗付加価値額の推移

- ・粗付加価値額も出荷額等と同様の傾向を示している。
- ・栃木県全体が2012年～2014年にかけて上昇しているのに対し、那珂川町のその上昇幅は比較的小さい。

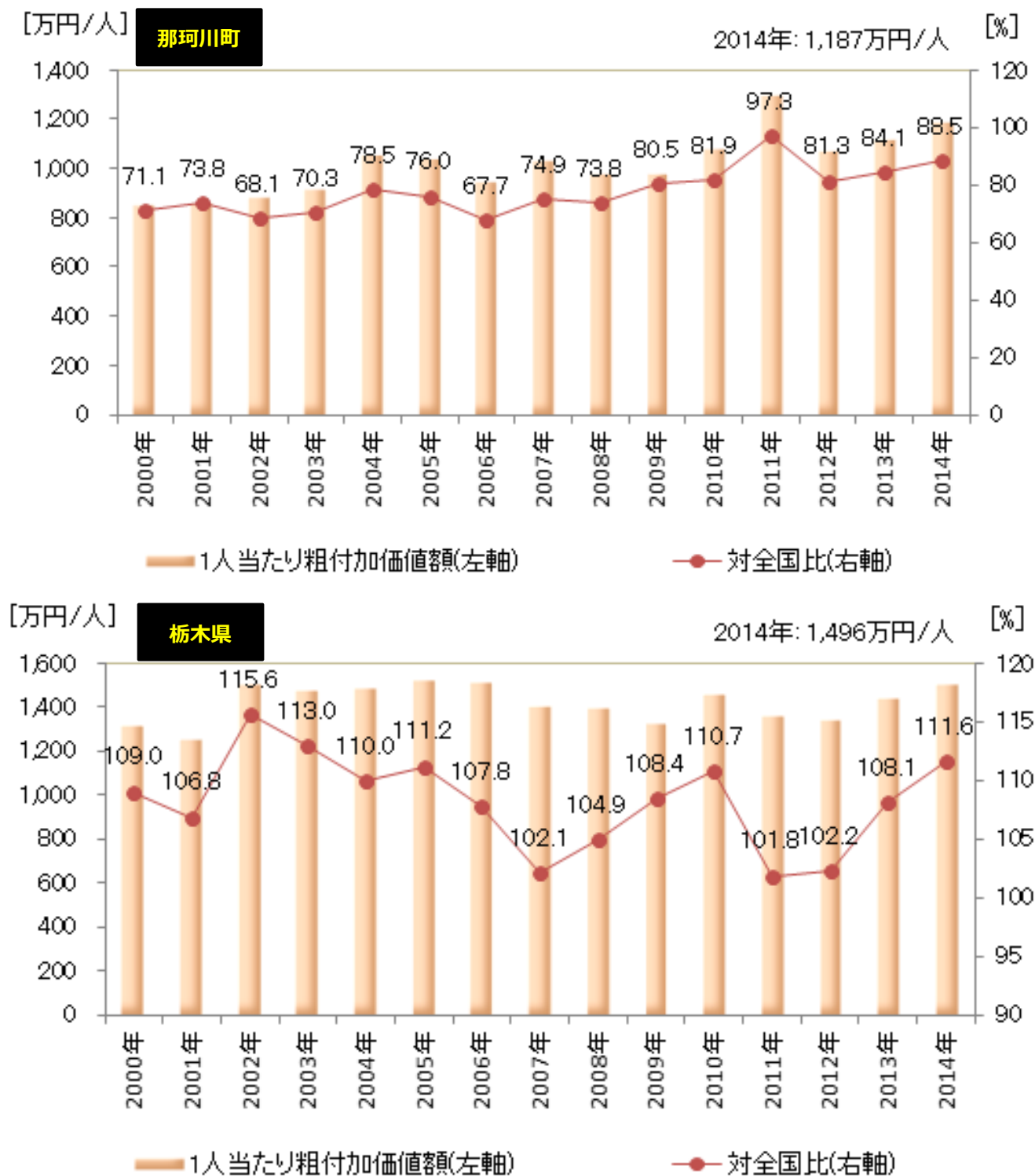
図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の粗付加価値額の推移



III-(1)-4.那珂川町の1人あたりの粗付加価値額の推移

- ・2014年の1人当たりの粗付加価値額は、那珂川町が1,187万円に対し、栃木県は1,496万円であった。
- ・2012～2014年にかけて、全国対比80～90%程を推移している。この15年間は一度も全国平均まで達していないが、2014年は88.5%の水準まで伸長しているため、この上昇傾向を維持したい。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の1人当たり粗付加価値額の推移



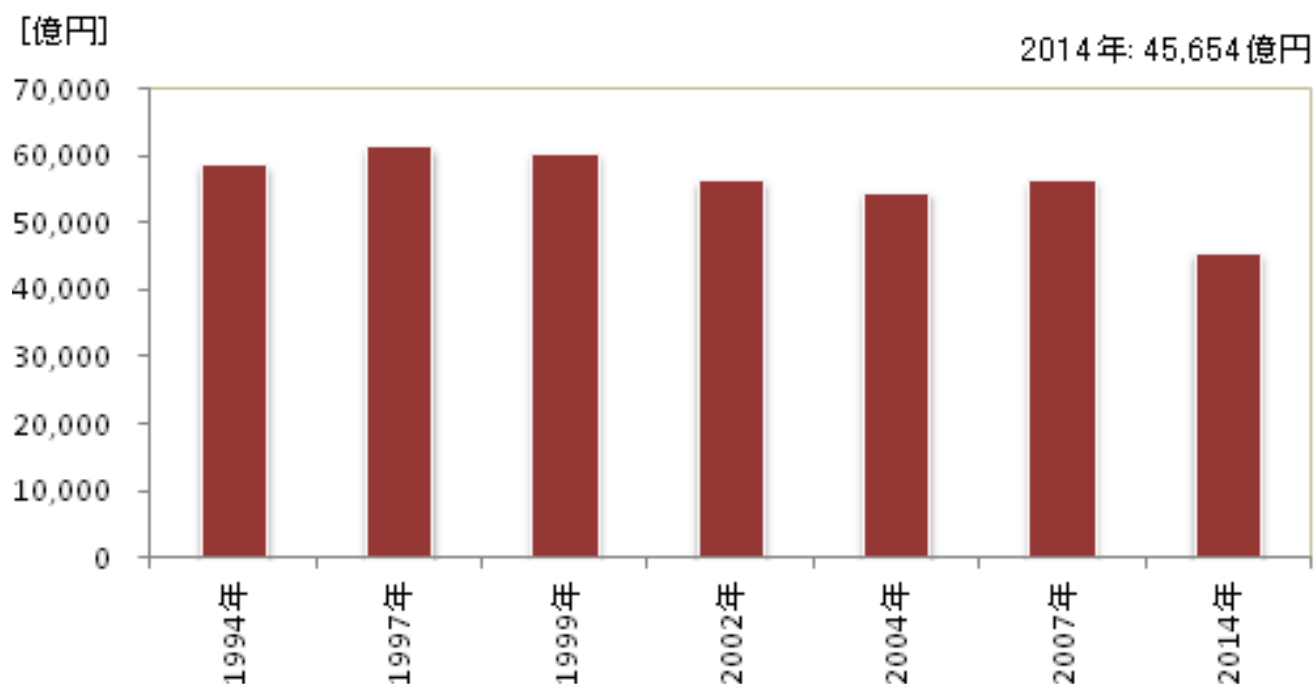
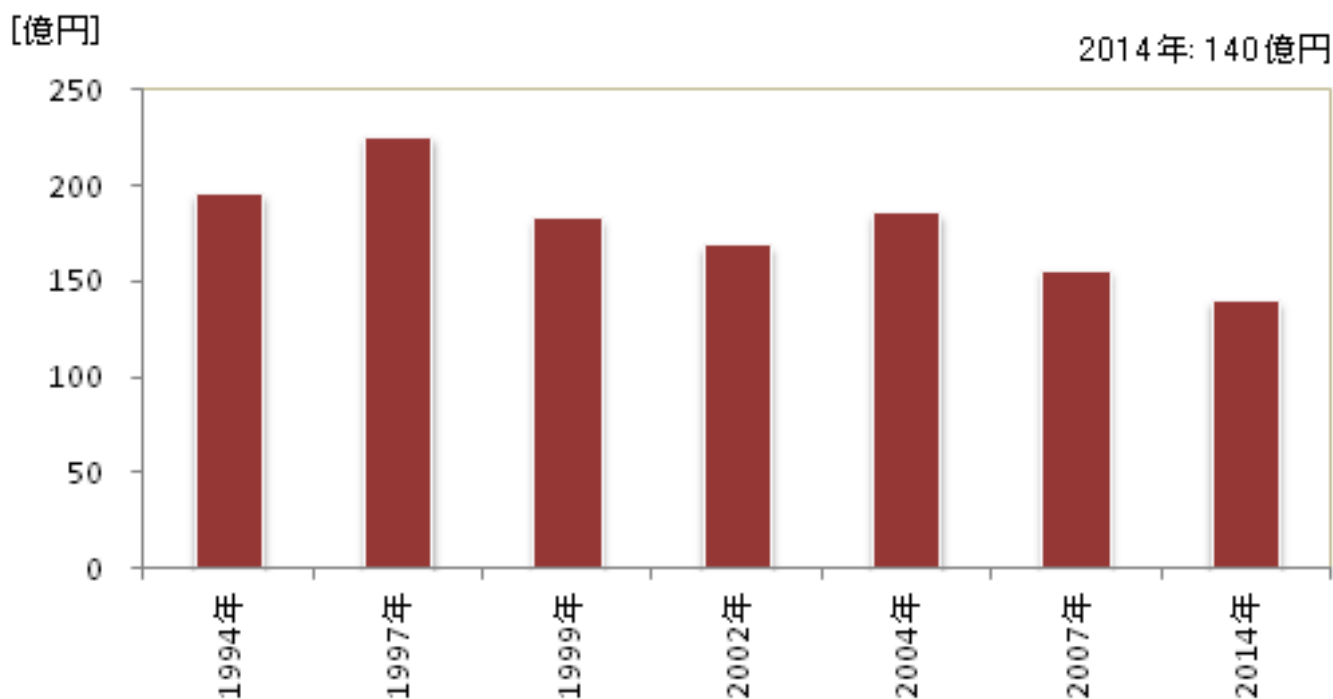
IV. 那珂川町の第3次産業等

IV-(1).那珂川町の商業動向

IV-(1)-1.那珂川町の年間商業販売額の推移

・那珂川町の2014年の商業の年間商品販売額は140億円で、1997年度から減少傾向が続いている。対2007年度では、10.2%の減少である。いっぽう栃木県も全体的に減少傾向である。対2007年度では19.2も減少しているため、那珂川町のほうが減少幅は少ないといえるが、対1997年(225億円)比では85億円も減少している点は見逃せない。

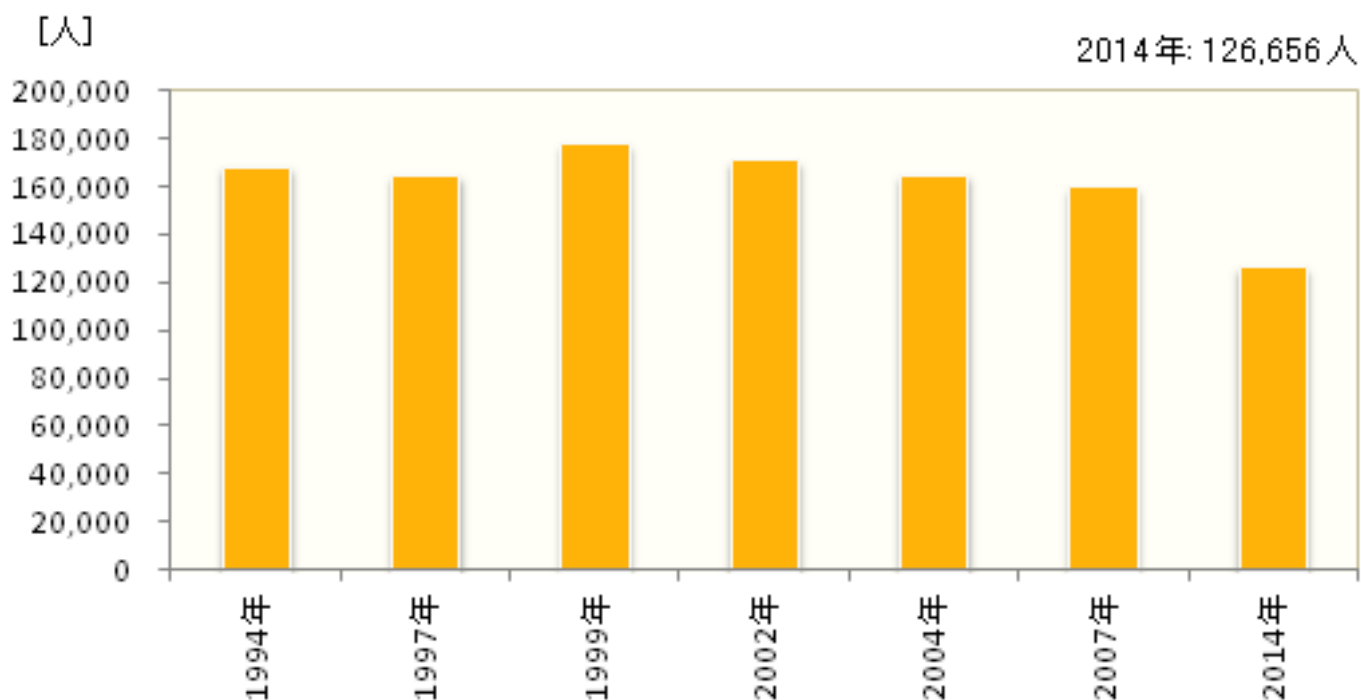
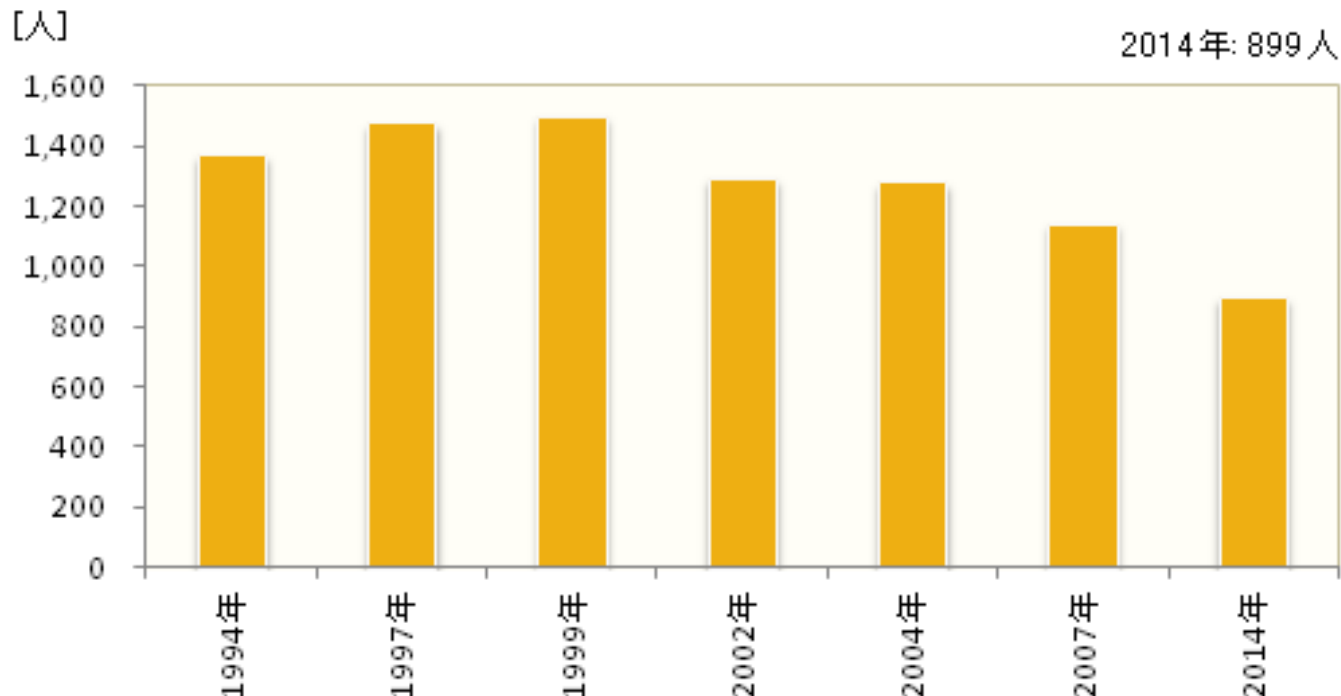
図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の商業年間販売額の推移



IV-(1)-2.那珂川町の商業従業者数の推移

- ・2014 年の従業者数は 899 人で、2007 年と比べると、21.3%減少している。いっぽうで栃木県の商業従業者数は 126,656 人で、2007 年と比べると 20.8%減少している。那珂川町のほうが、減少率が高い。
- ・どちらも直近 10 年で減少の一途を辿っている。

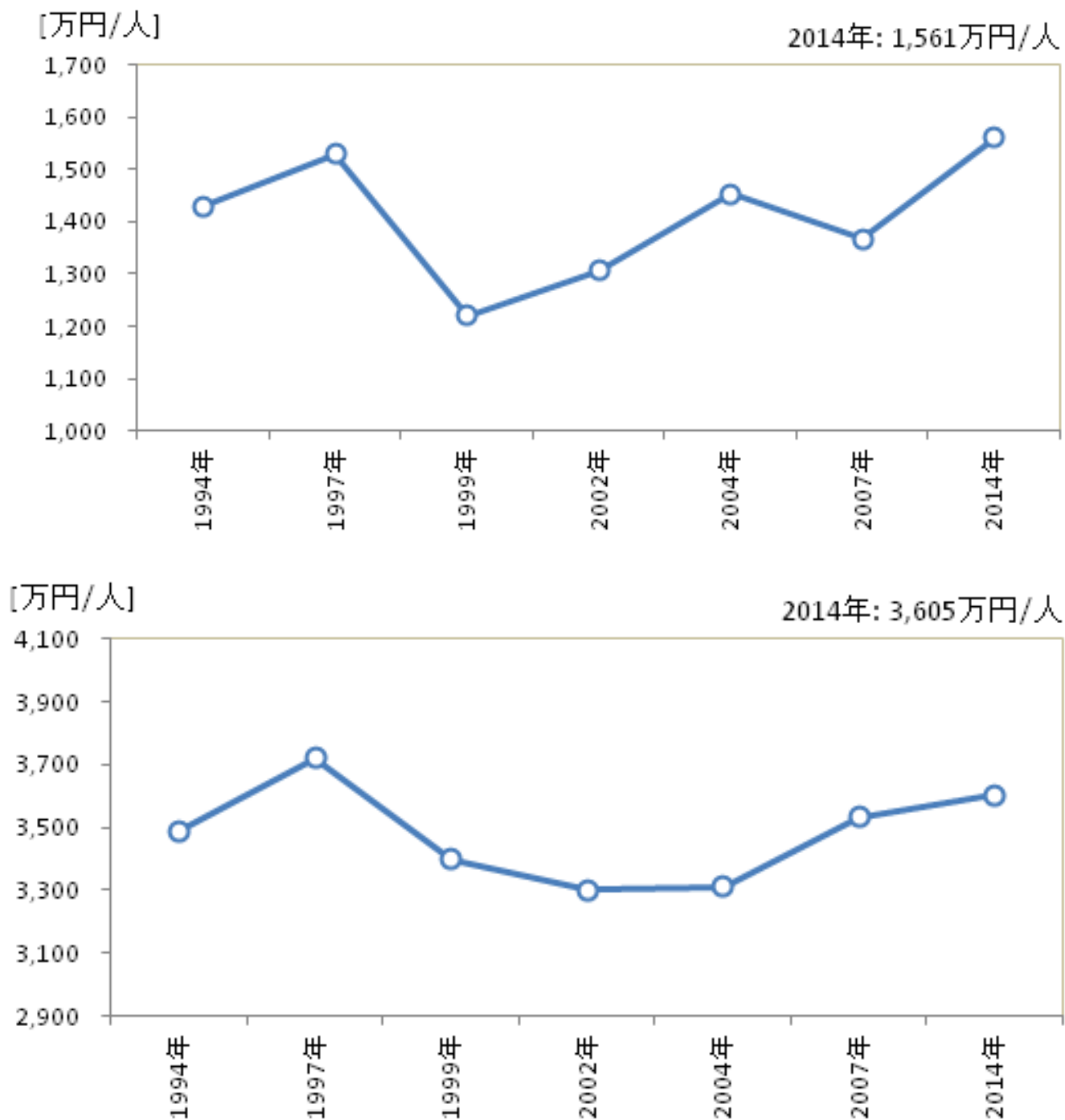
図表：那賀川町[上]と栃木県[下]の商業従業者数の推移



IV-(1)-3.那珂川町の商業従業者一人当たり年間商品販売額の推移

- ・2014 年の従業者 1 人当たりの商品販売額は、1994 年以降で最も高く、15 百万円だった。2007 年度と比較しても、14%増である。いっぽう栃木県は、36 百万円と那珂川町よりも高い水準であったが、2007 年度比は 2.0%増であった。
- ・一人当たりの販売額はそのまま上昇傾向を維持しつつ、従業者の増加が喫緊の課題といえる。

図表：那珂川町[上]と栃木県[下]の商業従業者一人当たり年間商品販売額の推移

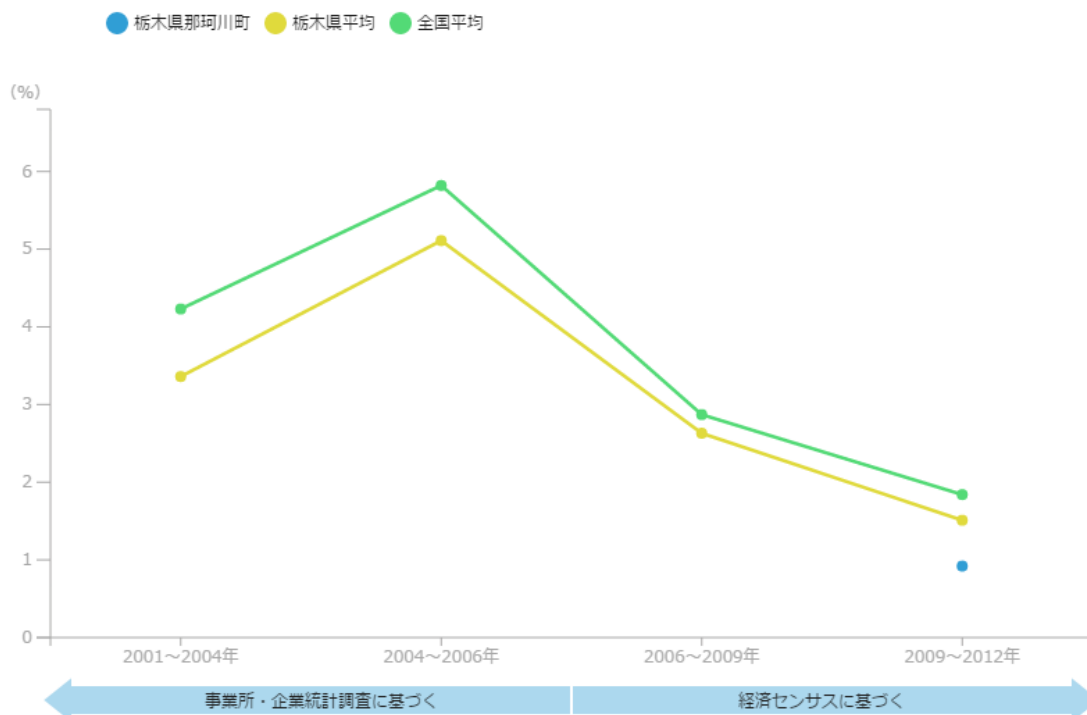


IV-(2).那珂川町のその他の指標

IV-(2)-1.那珂川町の創業比率と黒字赤字企業比率

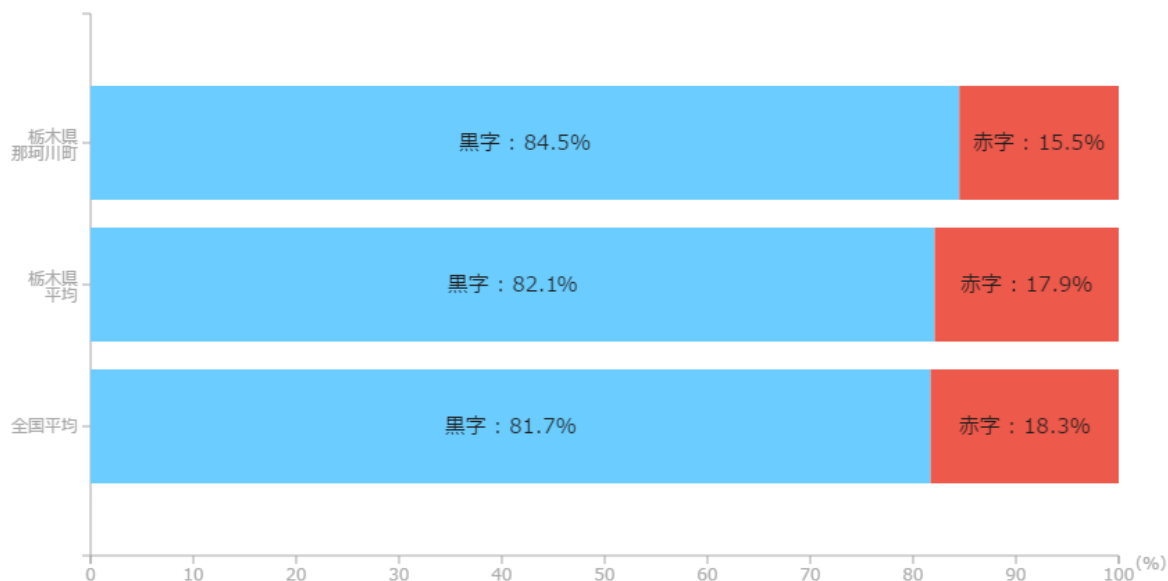
・那珂川町の起業比率は全国平均、栃木県平均よりも下回っている。いっぽうで、黒字企業は全国平均、栃木県よりも高い水準を維持している。このことから、堅実な企業経営を行う事業体が多いことが分かる。なお、新規事業は既存企業に比べて新しい雇用を生み出しやすいため、起業がしやすくなる環境を整えることは、地域の経済発展に寄与すると考えられる。

図表：創業比率



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

図表：黒字赤字企業比率 2012 年



出典：経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

V. Appendix(栃木県の情報)

V-(1).栃木県全体の情報

V-(1)-1.栃木県の主要指標

図表：製造品出荷額の第 1 位が栃木県の工業製品一覧

分類	製造品	出荷額 (百万円)	出荷額（全国） (百万円)	全国順位	シェア (%)	年
木材・木製品	木質系プレハブ住宅	4,261	7,795	1 位	54.7	H25
パルプ・紙・紙加工品	絶縁紙、絶縁テープ	1,453	3,054	1 位	47.6	H25
プラスチック製品	硬質プラスチック発泡製品（厚板）（厚さ 3mm 以上）	21,030	93,060	1 位	22.6	H25
金属製品	シャツタ	19,673	94,742	1 位	20.8	H25
生産用機械器具	半導体製造装置の部分品・取付具・附属品	39,315	337,340	1 位	11.7	H25
業務用機械器具	工業用長さ計	8,472	33,750	1 位	25.1	H25
	歯科用機械器具、同装置	22,615	64,900	1 位	34.8	H25
	カメラ用交換レンズ	108,971	176,628	1 位	61.7	H25
	光学レンズ	15,803	79,086	1 位	20.0	H25
その他の製品	万年筆・シャープペンシル部分品、ペン先、ペン軸	713	3,795	1 位	18.8	H25

出典：経済産業省『平成 25 年工業統計調査』(とちぎの統計情報)

図表：栃木県の収穫量の全国順位が高い農産物一覧

品目	収穫量（トン）	収穫量（全国）（トン）	全国順位	シェア（%）	年
いちご	25,400	164,000	1 位	15.5	H26
二条大麦	35,900	113,000	1 位	31.8	H27
かんぴょう	382	388	1 位	98.5	H24
陸稲	709	2,700	2 位	26.3	H27
にら	11,000	61,400	2 位	17.9	H26
こんにゃくいも	1,790	61,300	2 位	2.9	H27
青刈りとうもろこし	237,200	4,823,000	2 位	4.9	H27

日本なし	20,700	247,300	3 位	8.4	H27
六条大麦	5,480	52,700	4 位	10.4	H27

出典：農林水産省『作物統計』『特定作物統計調査』『地域特産野菜生産状況』(とちぎの統計情報)

品目	栃木県	全国	全国順位	シェア (%)	年
乳用牛飼育頭数（頭）	53,500	1,371,000	2 位	3.9	H27
生乳生産量（トン）	317,150	7,334,264	2 位	4.3	H26

資料：農林水産省畜産統計(とちぎの統計情報)

品目	出荷量（千本）	出荷量（全国）（千本）	全国順位	シェア (%)	年
スプレイぎく（切り花）	21,800	241,700	3 位	9.0	H26

資料：農林水産省平成 26 年産花き生産出荷統計(とちぎの統計情報)

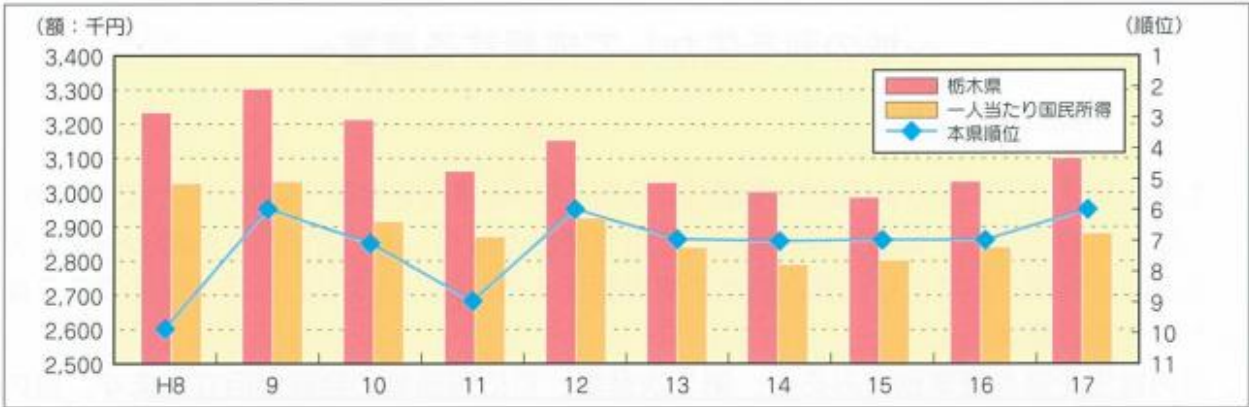
V-(1)-2.栃木の県民所得

図表：栃木県の主要指標

指 標 名		指標値	順位	全国
1	県民所得	6 兆 2,532 億円	15 位	367 兆 6,303 億円
2	一人当たり県民所得	3,101 千円	6 位	2,878 千円
3	労働生産性	6,078 千円	7 位	6,023 千円
4	労働生産性〔製造業〕	9,941 千円	－	6,757 千円
5	就業者比率	50.8%	12 位	48.9%
6	県民分配率	100.4%	38 位	103.2%

出典：栃木県『とちぎの統計情報』

図表：一人当たりの県民所得



出典：栃木県『とちぎの統計情報』

図表：各要素上位県

	一人当たり県民所得		労働生産性		就業者比率		県民分配率	
	都道府県名	千円	都道府県名	千円	都道府県名	%	都道府県名	%
1位	東京都	4,778	東京都	8,495	東京都	65.2	埼玉県	138.6
2位	愛知県	3,524	滋賀県	6,698	愛知県	54.7	奈良県	135.6
3位	静岡県	3,344	愛知県	6,570	静岡県	53.9	千葉県	131.2
4位	滋賀県	3,275	大阪府	6,242	岩手県	53.5	神奈川県	128.9
5位	神奈川県	3,204	広島県	6,240	長野県	52.4	兵庫県	113.6
本県	6位	3,101	7位	6,078	12位	50.8	38位	100.4
全国平均	—	2,878	—	6,023	—	48.9	—	103.2

※一人当たり県民所得の全国平均値は、一人当たり国民所得の額を掲載している。

出典：栃木県『とちぎの統計情報』

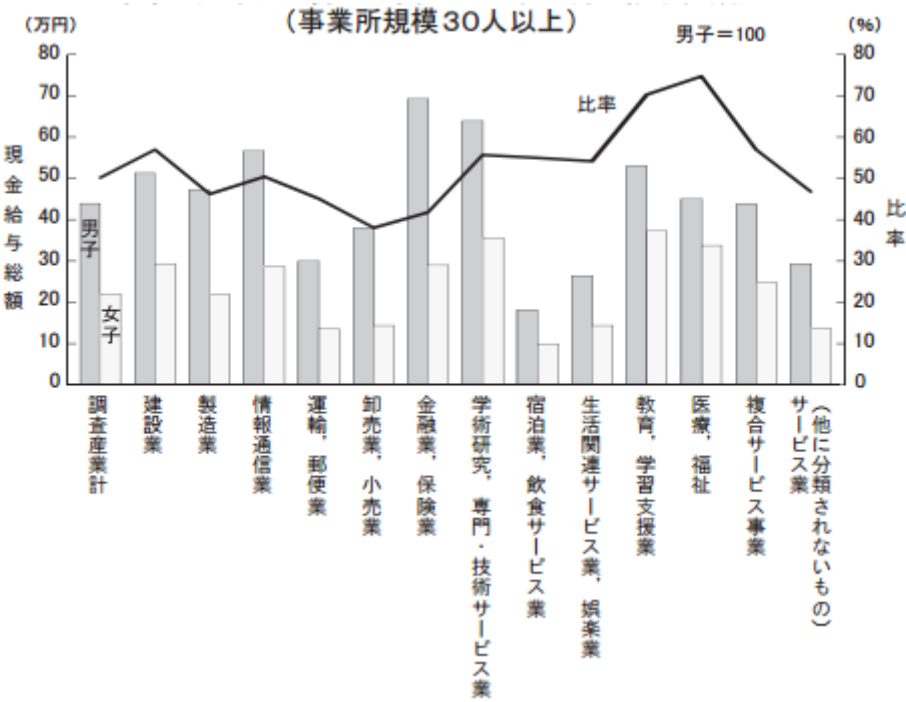
図表：産業別労働生産性

	構成比(%)	本県(a)	全国(b)	a/b
農 林 水 産 業	1.9	1,632	1,618	1.01
鉱 業	0.2	10,181	5,700	1.79
製 造 業	39.4	9,941	6,757	1.47
建 設 業	5.7	4,238	4,353	0.97
電気・ガス・水道業	1.4	7,572	12,646	0.60
卸 売 ・ 小 売 業	10.4	4,357	5,228	0.83
金 融 ・ 保 険 業	5.2	17,293	18,054	0.96
運 輸 ・ 通 信 業	3.9	4,254	6,538	0.65
サ ー ビ ス 業	17.9	3,883	3,740	1.04
政 府 等	9.3	6,357	8,518	0.75

※構成比は、県内純生産による。不動産業は、県民経済計算の概念による特別な推計を行っているため除く。

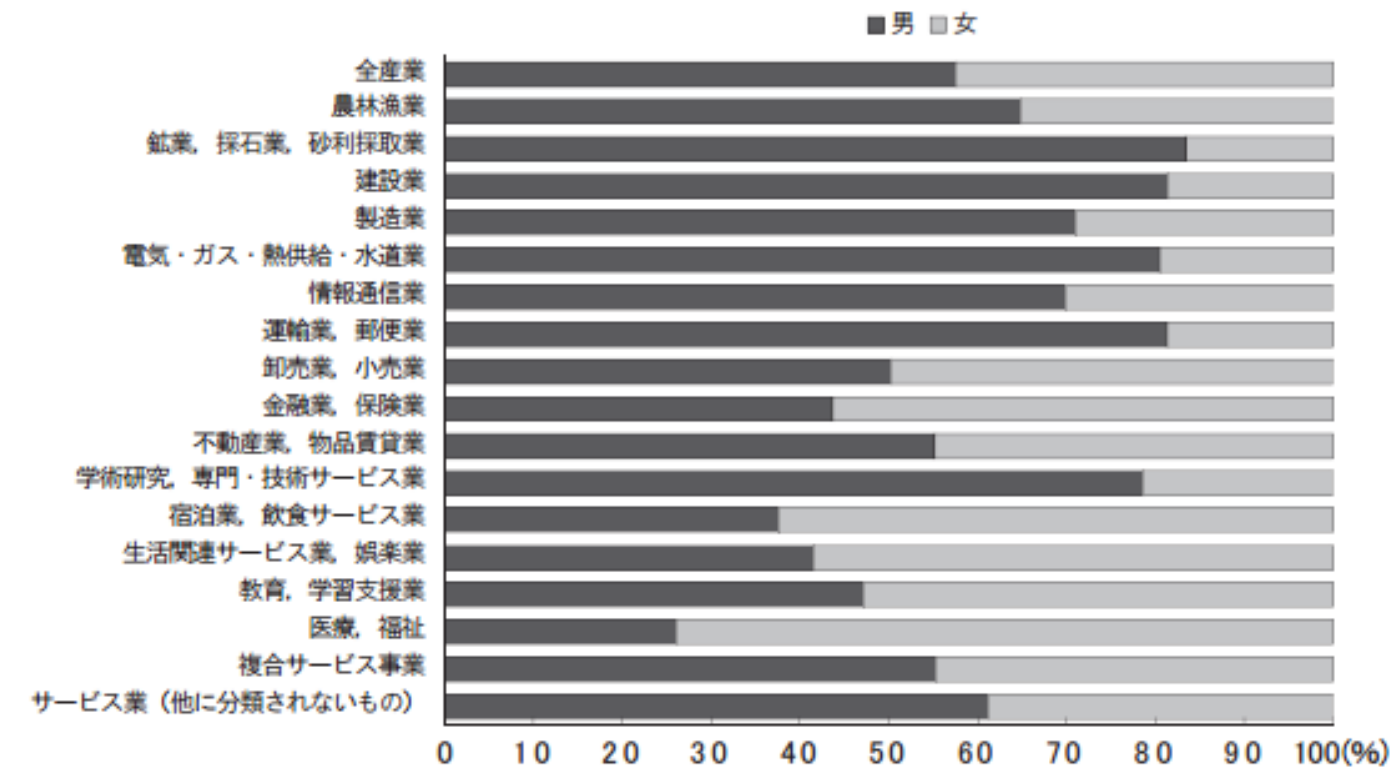
出典：栃木県『とちぎの統計情報』

図表：産業別男女別賃金と比率



出典：栃木県『とちぎの指標：経済と労働』

図表：産業別大分類別従業者の男女比



出典：栃木県『とちぎの指標：経済と労働』

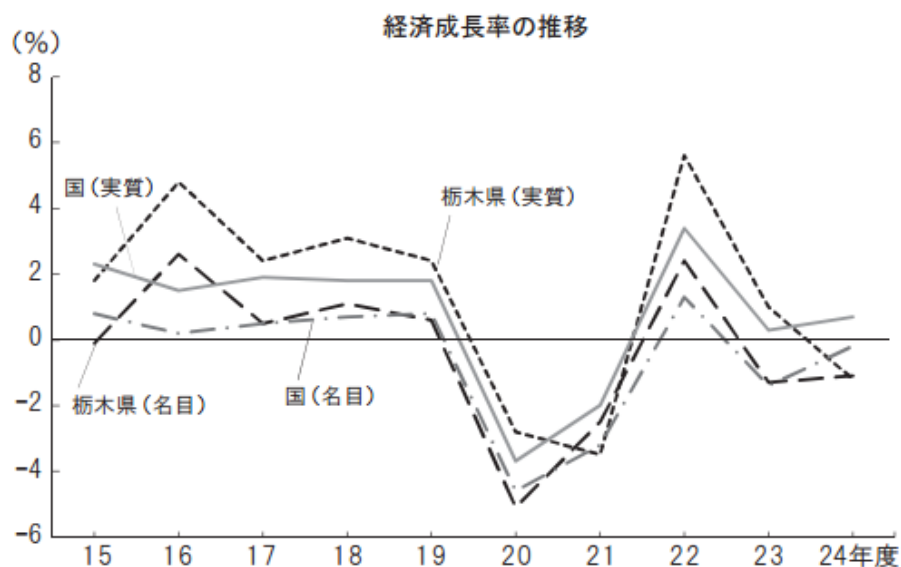
V-(1)-3. 栃木の経済状況

図表：県民経済生産の概要

区 分		単位	実数		対前年度増加率(%)	
			24年度	25年度	24年度	25年度
栃木県	県内総生産(名目)	億円	77,271	82,322	▲ 1.3	6.5
	県内総生産(実質)	億円	85,573	91,022	▲ 1.4	6.4
	県民所得	億円	59,751	64,632	▲ 0.3	8.2
	一人当たり県民所得	千円	3,000	3,255	0.1	8.5
国	国内総生産(名目)	億円	4,744,749	4,831,103	0.1	1.8
	国内総生産(実質)	億円	5,196,318	5,305,915	1.0	2.1
	国民所得	億円	3,519,578	3,620,550	0.7	2.9
	一人当たり国民所得	千円	2,761	2,845	0.9	3.0

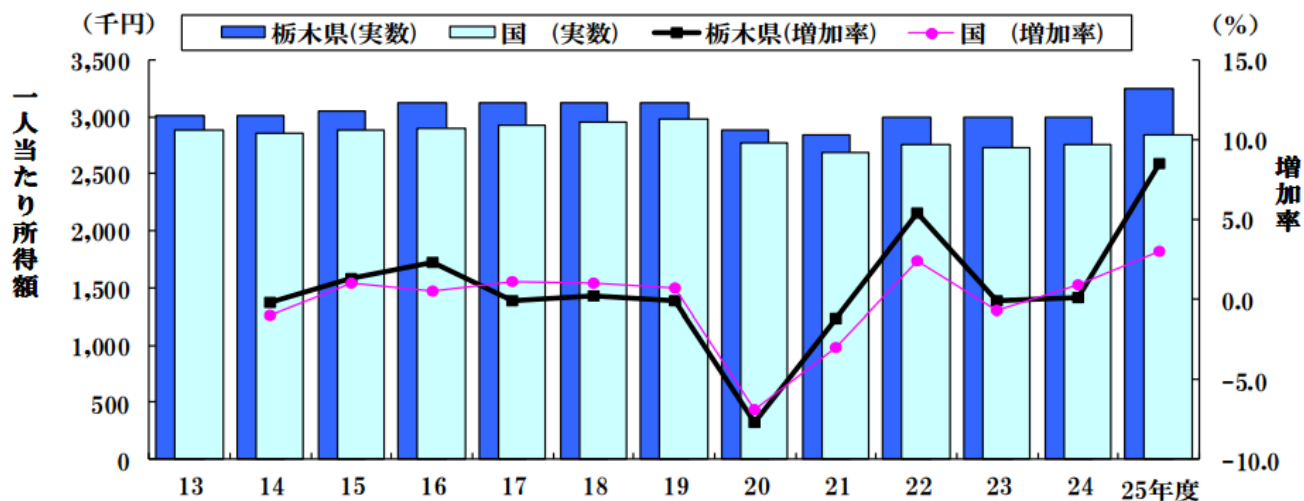
出典：栃木県『県民経済生産』

図表：経済成長率の推移



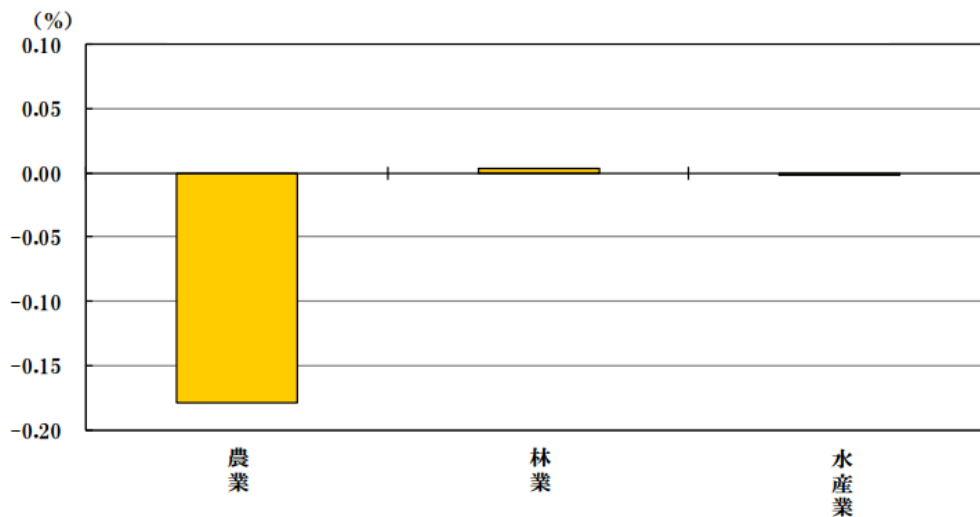
出典：栃木県『とちぎの指標：経済と労働』

図表：1人あたりの県民所得の推移



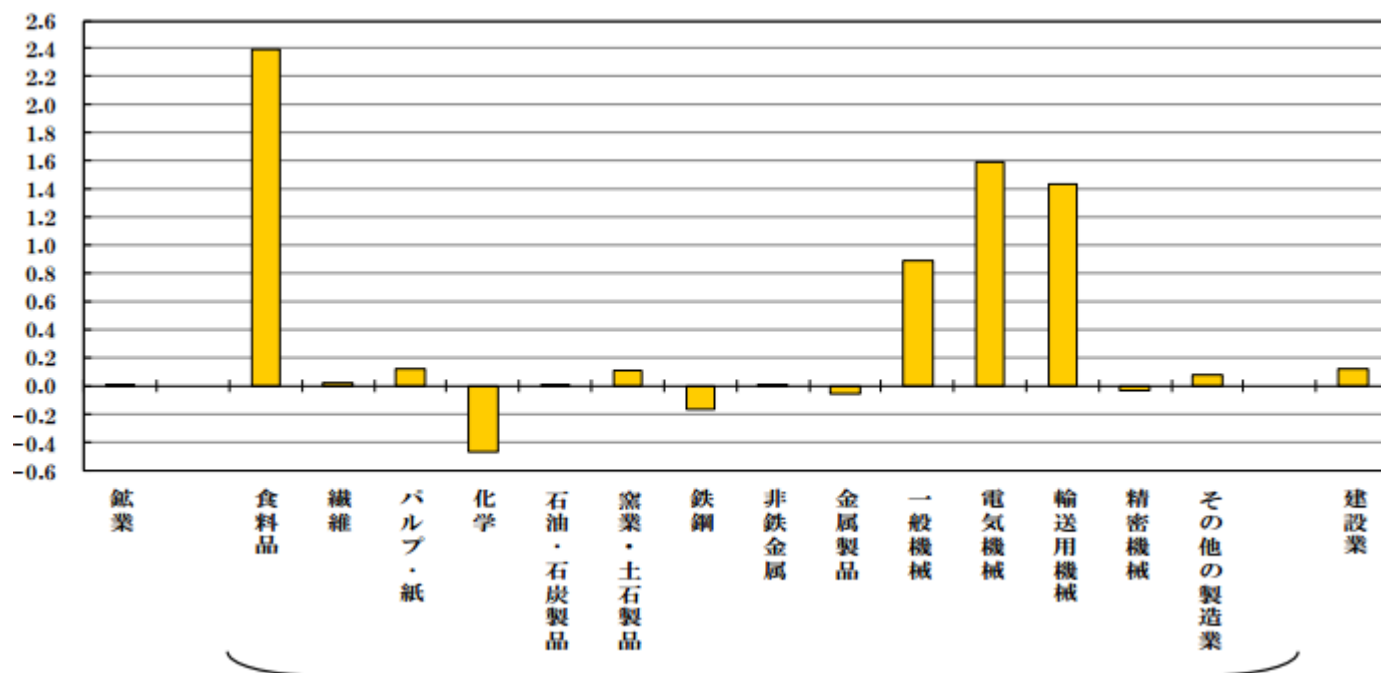
出典：栃木県『県民経済生産』

図表：1次産業の県内総生産



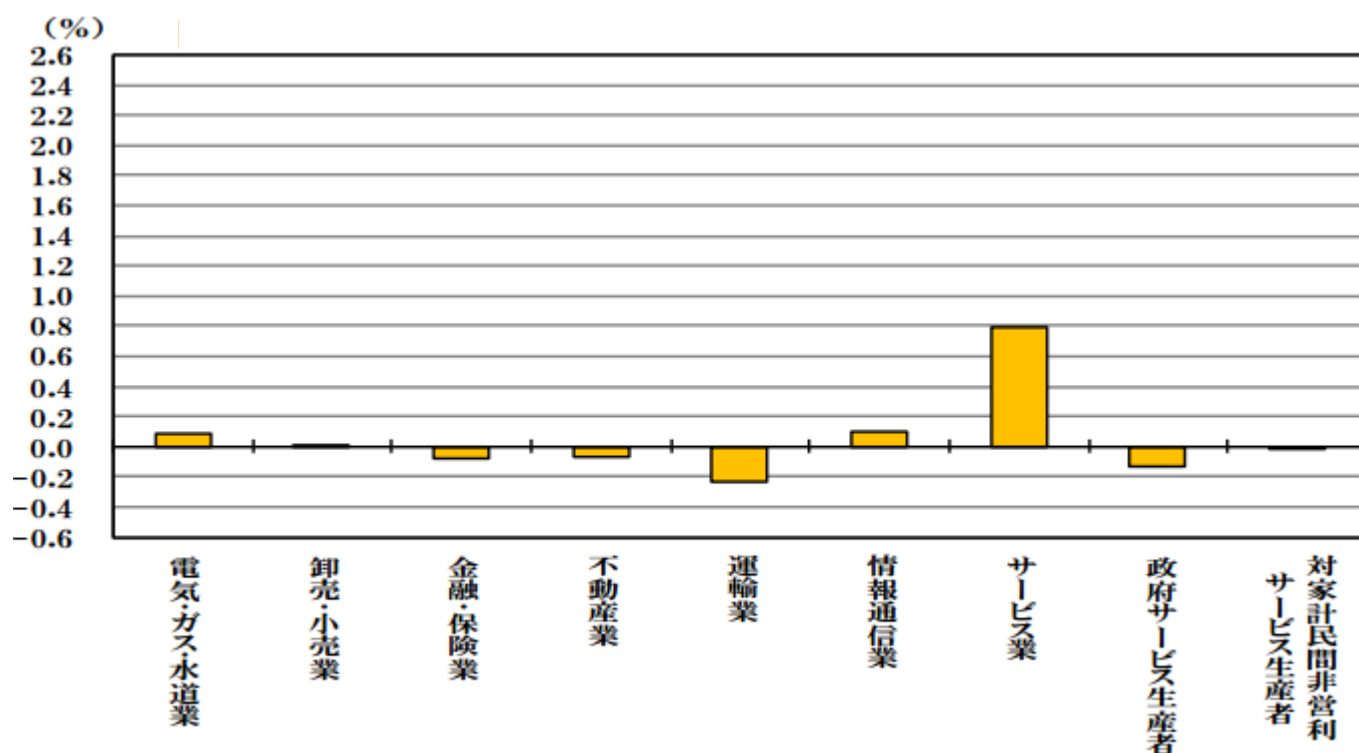
出典：栃木県『県民経済生産』

図表：2次産業の県内総生産



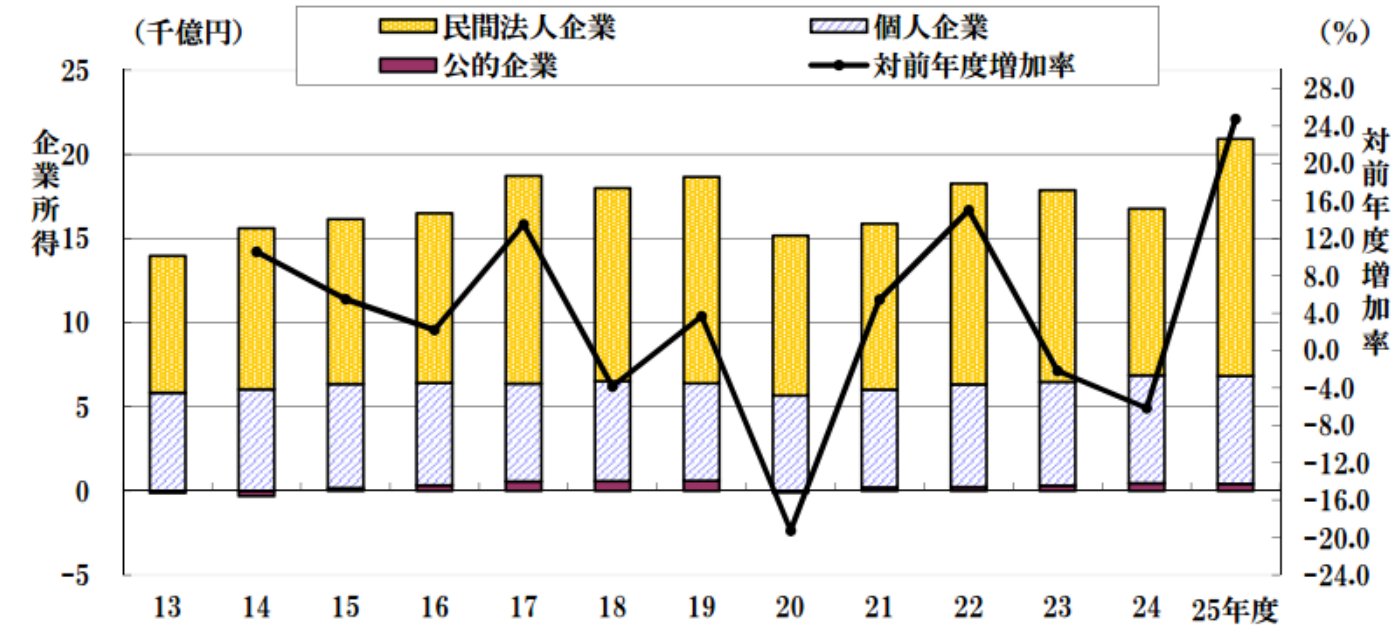
出典：栃木県『県民経済生産』

図表：3次産業の県内総生産



出典：栃木県『県民経済生産』

図表：県内企業の所得の推移



出典：栃木県『県民経済生産』

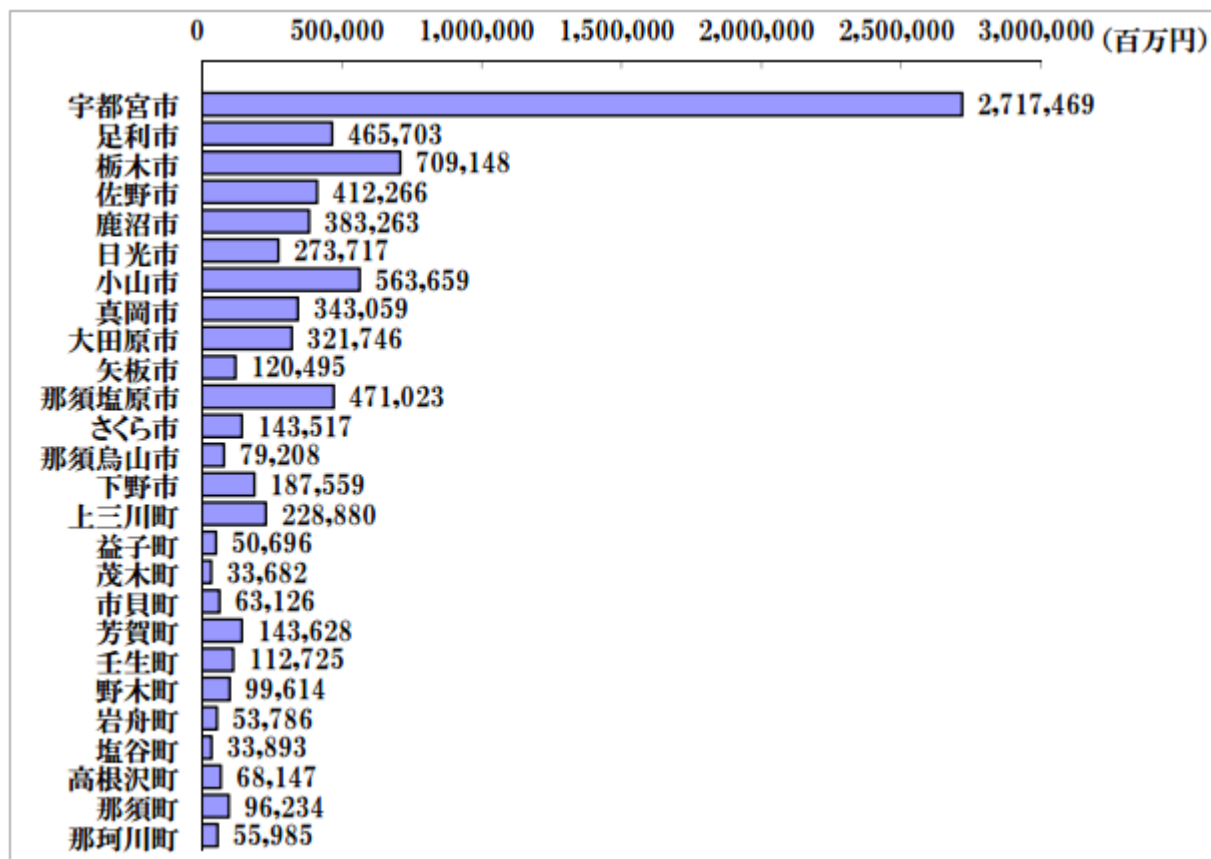
V-(1)-4. 栃木の市町村民経済計算

図表：市町村内装生産額(名目) 対前年度比 構成比

市町村	市町村内総生産額 (名目)			対前年度比 (経済成長率・名目)		構成比	
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	24年度	25年度
栃木県	7,727,105	8,232,227	505,122	▲ 1.3	6.5	100.0	100.0
宇都宮市	2,482,312	2,717,469	235,157	▲ 2.3	9.5	32.1	33.0
足利市	466,988	465,703	▲ 1,285	1.2	▲ 0.3	6.0	5.7
栃木市	658,253	709,148	50,895	3.3	7.7	8.5	8.6
佐野市	408,400	412,266	3,866	▲ 3.9	0.9	5.3	5.0
鹿沼市	348,392	383,263	34,871	▲ 2.7	10.0	4.5	4.7
日光市	268,228	273,717	5,489	▲ 1.0	2.0	3.5	3.3
小山市	564,379	563,659	▲ 720	▲ 7.4	▲ 0.1	7.3	6.8
真岡市	326,215	343,059	16,844	3.6	5.2	4.2	4.2
大田原市	307,134	321,746	14,612	▲ 0.4	4.8	4.0	3.9
矢板市	116,661	120,495	3,834	▲ 5.8	3.3	1.5	1.5
那須塩原市	465,569	471,023	5,454	9.1	1.2	6.0	5.7
さくら市	144,606	143,517	▲ 1,088	1.9	▲ 0.8	1.9	1.7
那須烏山市	81,406	79,208	▲ 2,198	▲ 3.3	▲ 2.7	1.1	1.0
下野市	179,445	187,559	8,114	4.2	4.5	2.3	2.3
上三川町	144,441	228,880	84,439	▲ 24.8	58.5	1.9	2.8
益子町	51,830	50,696	▲ 1,134	4.7	▲ 2.2	0.7	0.6
茂木町	33,061	33,682	621	▲ 1.3	1.9	0.4	0.4
市貝町	56,589	63,126	6,537	23.6	11.6	0.7	0.8
芳賀町	118,003	143,628	25,625	▲ 3.7	21.7	1.5	1.7
壬生町	114,656	112,725	▲ 1,930	▲ 0.0	▲ 1.7	1.5	1.4
野木町	92,162	99,614	7,451	6.3	8.1	1.2	1.2
岩舟町	51,978	53,786	1,808	4.3	3.5	0.7	0.7
塩谷町	29,411	33,893	4,481	▲ 7.8	15.2	0.4	0.4
高根沢町	66,962	68,147	1,184	▲ 3.8	1.8	0.9	0.8
那須町	93,551	96,234	2,683	▲ 2.4	2.9	1.2	1.2
那珂川町	56,473	55,985	▲ 489	▲ 5.7	▲ 0.9	0.7	0.7

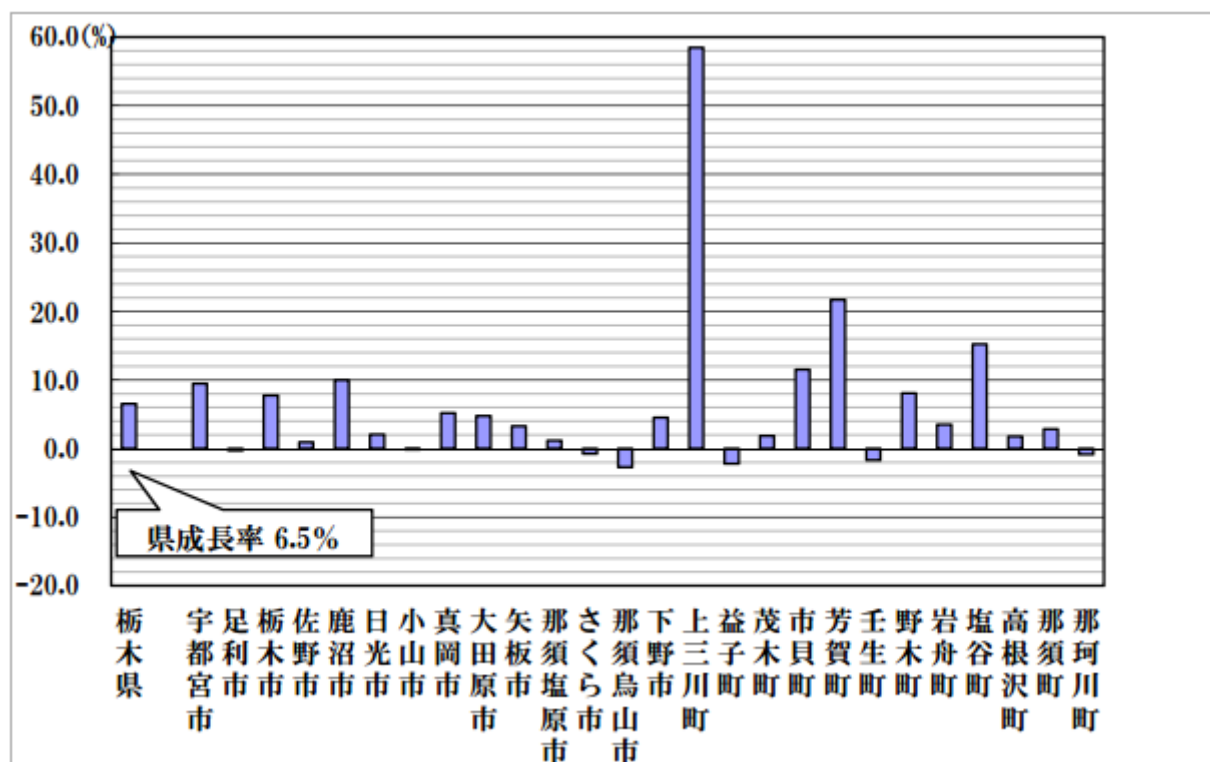
出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表：市町村内総生産額



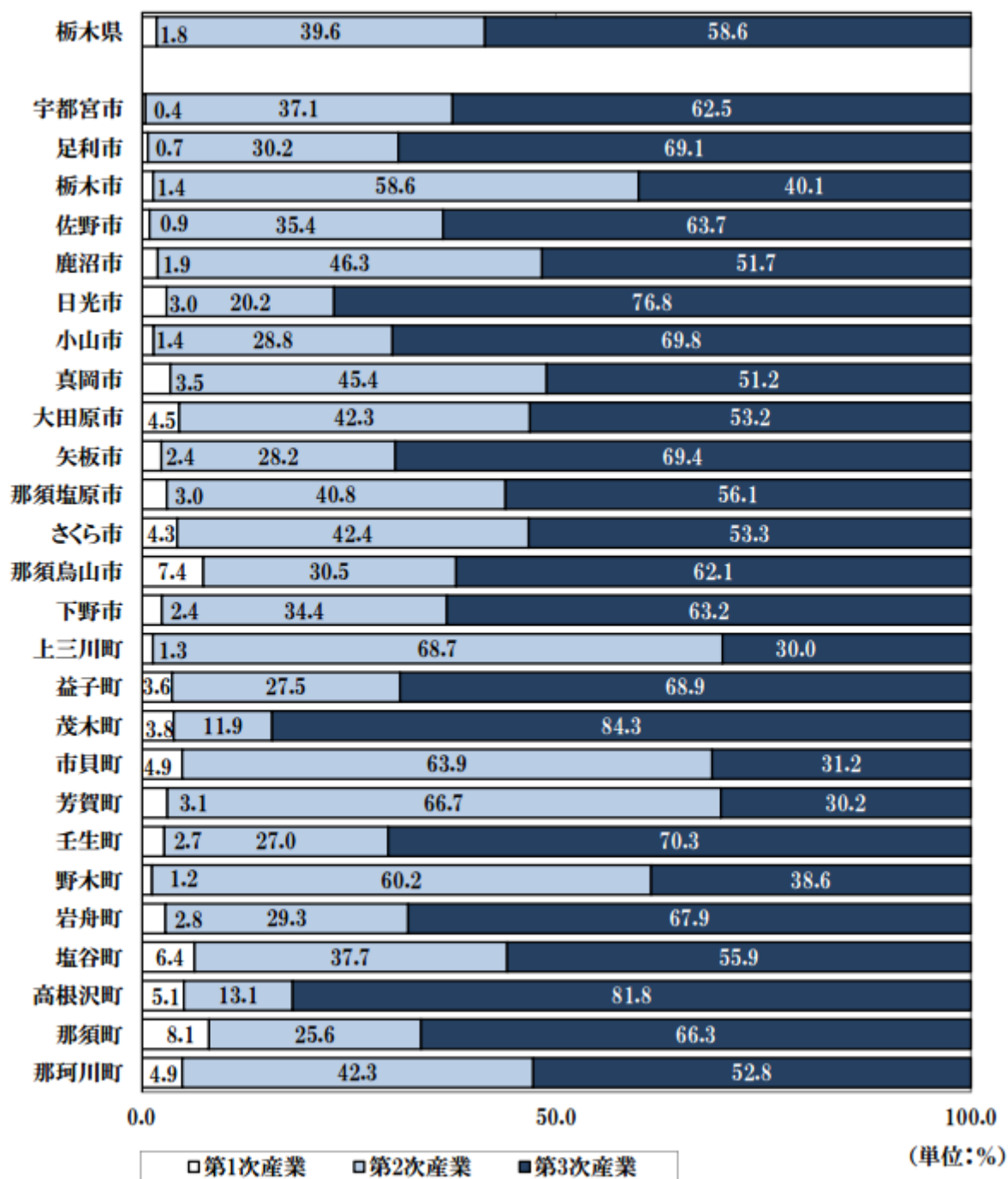
出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表：経済成長率(対前年度比)



出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表：市町村別産業構成



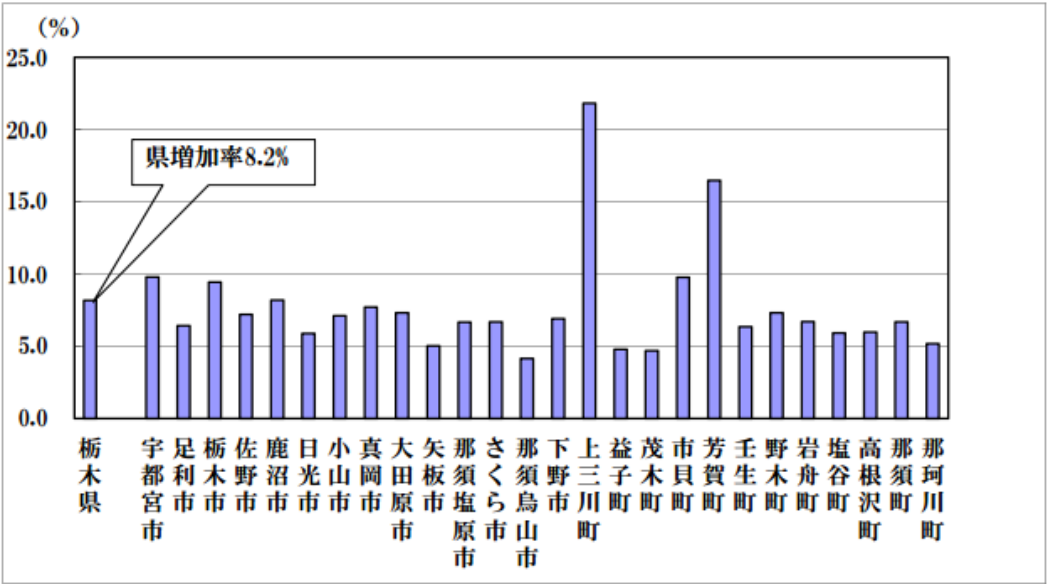
出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表：市町村民所得額 対前年度比 構成比

市町村	市町村民所得額			対前年度比		構 成 比	
	24年度	25年度	増 減	24年度	25年度	24年度	25年度
栃 木 県	5,975,074	6,463,154	488,080	▲ 0.3	8.2	100.0	100.0
宇 都 宮 市	1,709,596	1,876,795	167,199	▲ 0.5	9.8	28.6	29.0
足 利 市	416,876	443,652	26,776	▲ 0.1	6.4	7.0	6.9
栃 木 市	429,905	470,432	40,527	▲ 0.1	9.4	7.2	7.3
佐 野 市	338,228	362,595	24,367	▲ 0.9	7.2	5.7	5.6
鹿 沼 市	291,228	315,085	23,856	▲ 0.3	8.2	4.9	4.9
日 光 市	238,285	252,285	14,000	▲ 0.4	5.9	4.0	3.9
小 山 市	492,330	527,356	35,025	▲ 0.5	7.1	8.2	8.2
真 岡 市	239,036	257,424	18,388	0.3	7.7	4.0	4.0
大 田 原 市	218,308	234,255	15,947	0.0	7.3	3.7	3.6
矢 板 市	93,850	98,553	4,703	▲ 3.0	5.0	1.6	1.5
那須塩原市	349,670	372,963	23,293	1.4	6.7	5.9	5.8
さくら市	127,034	135,515	8,481	0.6	6.7	2.1	2.1
那須烏山市	75,543	78,679	3,136	▲ 1.1	4.2	1.3	1.2
下 野 市	186,429	199,279	12,851	1.5	6.9	3.1	3.1
上 三 川 町	99,333	120,999	21,666	▲ 8.0	21.8	1.7	1.9
益 子 町	62,741	65,735	2,994	1.9	4.8	1.1	1.0
茂 木 町	35,512	37,174	1,662	▲ 0.8	4.7	0.6	0.6
市 貝 町	38,446	42,204	3,758	3.9	9.8	0.6	0.7
芳 賀 町	54,558	63,547	8,990	▲ 3.1	16.5	0.9	1.0
壬 生 町	112,053	119,155	7,102	1.4	6.3	1.9	1.8
野 木 町	77,593	83,266	5,672	▲ 0.3	7.3	1.3	1.3
岩 舟 町	49,981	53,327	3,346	0.8	6.7	0.8	0.8
塩 谷 町	31,873	33,760	1,887	▲ 1.0	5.9	0.5	0.5
高 根 沢 町	89,892	95,263	5,370	1.1	6.0	1.5	1.5
那 須 町	69,511	74,154	4,643	0.4	6.7	1.2	1.1
那 珂 川 町	47,263	49,702	2,439	▲ 1.5	5.2	0.8	0.8

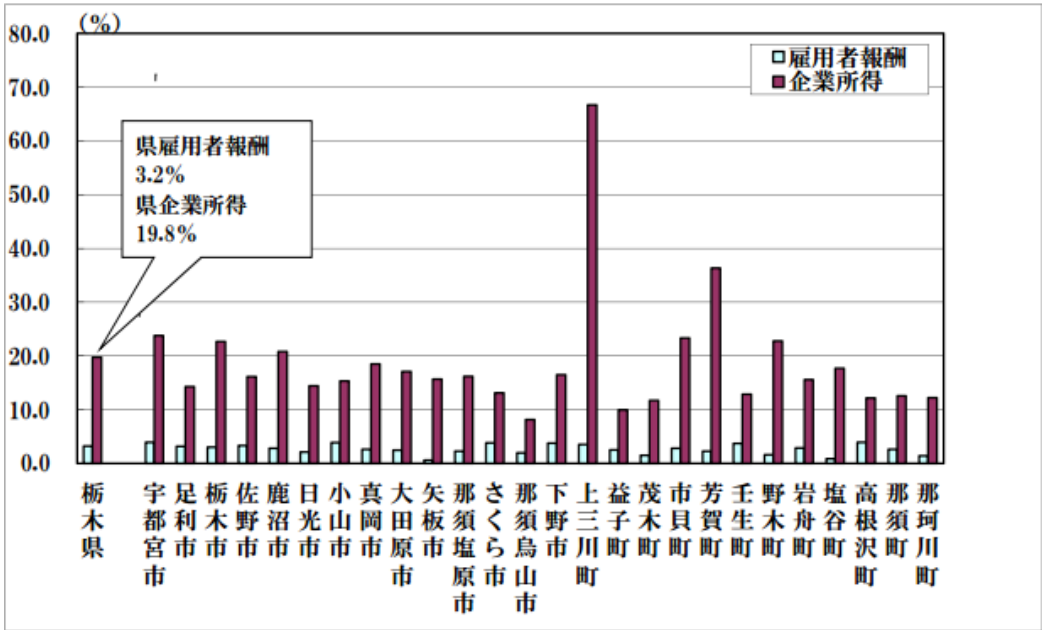
出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表：市町村民所得対前年度比



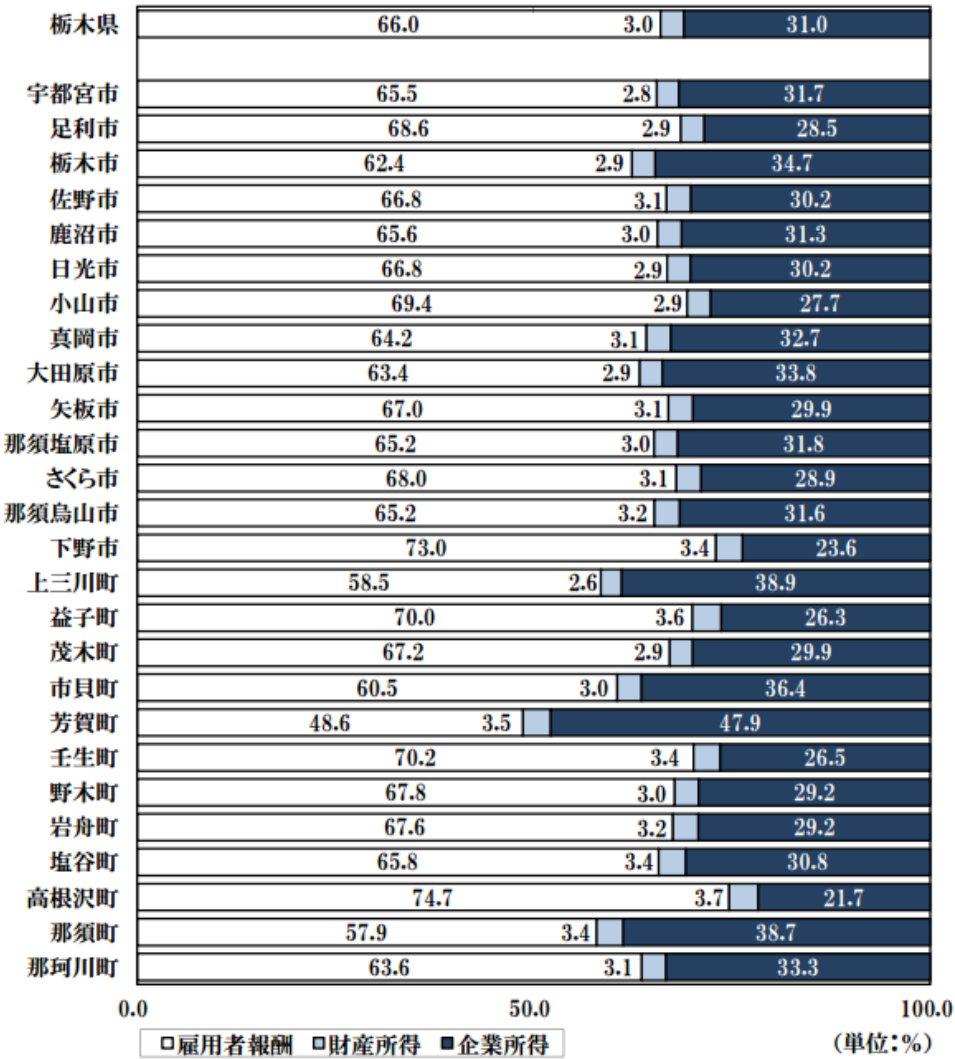
出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表：雇用者報酬・企業所得の対前年度比



出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村村民経済計算(概要)』

図表：所得の構成



出典：栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村村民経済計算(概要)』

【作成/監修】

〒324-0054

栃木県大田原市若松町 505-1 柴田若松コーポ 103 号

株式会社ネオクラシック

中小企業診断士 柴田 幸紀